

九州厚生局長 殿

九州大学病院
病院長 久保 千

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 4 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	531.08人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	414人	222.8人	636.8人	看 護 補 助 者	34.5人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	人
歯 科 医 師	147人	74.5人	221.5人	理 学 療 法 士	13人	臨 床 検 査 技 師	89.8人
薬 剤 師	75人	人	75.0人	作 業 療 法 士	8人	衛 生 検 査 技 師	2人
保 健 師	人	人	人	視 能 訓 練 士	5.8人	其 他	人
助 産 師	43人	3.7人	46.7人	義 肢 装 具 士	人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	人
看 護 師	1146人	16.8人	1162.8人	臨 床 工 学 技 士	11人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	6人
准 看 護 師	人	人	人	栄 養 士	人	そ の 他 の 技 術 員	12.7人
歯 科 衛 生 士	18人	人	18.0人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	260.7人
管理栄養士	7人	人	7.0人	診 療 放 射 線 技 師	63人	そ の 他 の 職 員	63.8人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

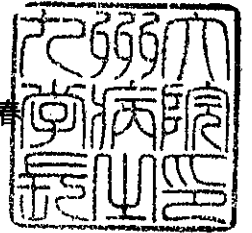
	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	1,004 人	32人	1,036人
1日当たり平均外来患者数	2,106 人	648人	2,754人
1日当たり平均調剤数			5,177.4剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した



九州厚生局長 殿

九州大学病院
病院長 久保 千春



九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	531.08人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	414人	222.8人	636.8人	看護補助者	34.5人	診療エックス線技師	人
歯科医師	147人	74.5人	221.5人	理学療法士	13人	臨床検査技師	89.8人
薬剤師	75人	人	75.0人	作業療法士	8人	衛生検査技師	2人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5.8人	その他	人
助産師	43人	3.7人	46.7人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	1146人	16.8人	1162.8人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	12.7人
歯科衛生士	18人	人	18.0人	歯科技工士	5人	事務職員	260.7人
管理栄養士	7人	人	7.0人	診療放射線技師	63人	その他の職員	63.8人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,004 人	32人	1,036人
1日当たり平均外来患者数	2,106 人	648人	2,754人
1日当たり平均調剤数			5,177.4剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

該当なし

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	214人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	213人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	149人	・原発性胆汁性肝硬変	116人
・全身性エリテマトーデス	535人	・重症急性膵炎	15人
・スモン	7人	・特発性大腿骨頭壊死症	189人
・再生不良性貧血	56人	・混合性結合組織病	50人
・サルコイドーシス	116人	・原発性免疫不全症候群	38人
・筋萎縮性側索硬化症	36人	・特発性間質性肺炎	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	300人	・網膜色素変性症	142人
・特発性血小板減少性紫斑病	88人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	28人	・肺動脈性肺高血圧症	38人
・潰瘍性大腸炎	327人	・神経線維腫症	31人
・大動脈炎症候群	64人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	35人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	57人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	319人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	21人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	31人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	151人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	29人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	33人
・後縦靭帯骨化症	28人	・肥大型心筋症	22人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	57人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	8人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	157人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	・
・エキシマレーザー冠動脈形成術	・
・超音波骨折治療法	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・経皮的骨形成術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	血液・腫瘍内科(リンパ腫)、整形外科、小児科、小児外科：毎月1回、外科(胆嚢・膵臓・乳腺)：2ヶ月に1回、消化管内科、外科(肝臓)、耳鼻咽喉科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、脳神経外科：毎週1回
部 検 の 状 況	部検症例数 85例 / 部検率 26.56%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
白血病幹細胞特異的抗原TIM-3に対する標的治療の開発	宮本 敏浩	第一内科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
組織幹細胞に着目した移植片対宿主病の新規治療法の開発	高嶋 秀一郎	第一内科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
膜内蛋白分解酵素により誘導されるTNFの新しい機能の解明と炎症性疾患制御への応用	塚本 浩	第一内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
慢性リンパ性白血病モデルマウスを応用した原因遺伝子の探索	宮本 敏浩	第一内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
メモリー細胞を標的とした移植片対宿主病の新規治療法の開発	加藤 光次	第一内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
幹細胞関連遺伝子EZH2を標的とした難治性GVHDに対する新規治療法の開発	加藤 光次	第一内科	300 万円	補	公益財団法人 武田科学振興財団 2012年度 生命科学医学系研究奨励継続助成
急性/慢性GVHDの病態形成に関わる新たなメモリーT細胞の役割の解明	加藤 光次	第一内科	100 万円	補	公益財団法人 先進医薬研究振興財団 平成24年度 第31回血液医学分野一般研究助成
新たなデバイスを用いたクローン病小腸病変の診断と治療	松本 主之	第二内科	100 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(難治性炎症性腸管障害に関する調査研究)
難治性膵疾患に関する調査研究	伊藤 鉄英	第三内科	135 万円	補	厚労省難治性疾患克服研究事業(研究代表:東北大学 下瀬川先生)
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	伊藤 鉄英	第三内科	40 万円	補	がん臨床研究事業(研究代表:国立がんセンター中央病院 奥坂先生)
フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究	伊藤 鉄英	第三内科	20 万円	補	厚労省難治性疾患克服研究事業(研究代表:高知大学執印先生)
ストレス関連疾患に対する統合医療の有用性と科学的根拠の確立に関する研究	岡 孝和	心療内科	1,200 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(健康安全確保総合研究 地域医療基盤開発推進研究)
睡眠障害における自律訓練の効果に関する研究:脳機能画像による脳内メカニズムの解明	富岡 光直	心療内科	286 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
虫垂神経機能発達における腸内フローラの役割	須藤 信行	心療内科	260 万円	補	公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団 研究助成金
長期飢餓ストレスが及ぼすエピジェネティック変化メカニズムの解明と臨床応用への展開	高倉 修	心療内科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
情動的側面に着目した慢性疼痛の病態解明と診断・評価法の開発	細井 昌子 (分担)	心療内科	200 万円	補	平成24年度 厚生労働省 科学研究費(慢性の痛み対策研究事業)
ストレスは如何にして宿主の易感染性を惹起するか?	須藤 信行	心療内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
神経性食欲不振症の低栄養が脳機能・消化吸収能・代謝機能へ与える影響の客観的評価	河合 啓介	心療内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
心因性発熱の治療法の確立に向けた基礎研究	岡 孝和	心療内科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
難治性疼痛の実態の解明と対応策の開発に関する研究	細井 昌子 (分担)	心療内科	50 万円	補	平成24年度 厚生労働省 科学研究費(慢性の痛み対策研究事業)
心因性発熱に関与する脳内部位の解明	岡 孝和 (分担)	心療内科	42 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
痛みに関する教育と情報提供システムの構築に関する研究	細井 昌子 (分担)	心療内科	10 万円	補	平成24年度 厚生労働省 科学研究費(慢性の痛み対策研究事業)
失体感症質問紙の標準化	岡 孝和 (分担)	心療内科	5 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
臨床疫学調査結果・新規免疫検査結果に基づくアトピー性脊髄炎の新規診断基準作成とその国内外での臨床応用	吉良 潤一	神経内科	3,000 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究)
肥厚性硬膜炎の診断基準作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施ならびに診療指針の確立	吉良 潤一	神経内科	910 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
中枢・末梢連合脱髄症の診断基準作成と臨床疫学調査の実施による治療指針の確立	吉良 潤一	神経内科	618 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究))
骨髄・臍帯間葉系細胞由来脳移行性シュワン細胞による脳梗塞の神経修復治療	松瀬 大	神経内科	650 万円	補	厚生労働科学研究費補助金(疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究)
全ゲノム連鎖解析による日本人脱髄性疾患の遺伝子の同定と当該遺伝子の人種間比較	吉良 潤一	神経内科	1,184 万円	補	日本学術振興会 若手研究者戦略的海外派遣事業費補助金
遺伝子間相互作用と膜蛋白マイクロアレイ解析に基づいた多発性硬化症の分子標的療法開発	吉良 潤一	神経内科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
胎児期作成局所皮質異形成ラットの自発てんかんの病態に基づく新規治療法の開発	重藤 寛史	神経内科	312 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
グリア細胞間情報伝達障害からみた脱髄性疾患の病態解明と新規治療法の開発	真崎 勝久	神経内科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究C)
コネクシン・アストロサイトパッチーによる同心円硬化症・多発性硬化症の脱髄機序	吉良 潤一	神経内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
間葉系細胞から分化・誘導した脳移行性シュワン細胞による中枢神経脱髄性疾患の治療	松瀬 大	神経内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
アルツハイマー病の画期的アポモルフィン治療法開発	大八木 保政	神経内科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験	砂川 賢二	循環器内科	22,100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 医療機器開発推進研究(低侵襲・非侵襲医療機器(ナノテクノロジー)研究)
特発性心筋症に関する調査研究	砂川 賢二	循環器内科	100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究
革新的医療機器の有効性又は安全性評価方法確立のための調査研究	砂川 賢二	循環器内科	5,100 万円	補 厚生労働省(革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業)
迷走神経刺激による心不全治療の最適化	砂川 賢二	循環器内科	5,680 万円	補 文部科学省 科学技術振興機構
低酸素応答系の制御に基づく生活習慣病治療の試み	砂川 賢二	循環器内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
重症肺高血圧症の予後と生活の質を改善するための安心安全のナノ医療製剤(希少疾病用医薬品)の実用化臨床試験	江頭 健輔	循環器内科	20,000 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究
ナノDDSと脈波衝撃投与DDSカテーテルの融合による低侵襲かつ安全安心な血管内ナノ治療システムの実用化と臨床試験	江頭 健輔	循環器内科	3,000 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 医療機器開発推進研究(医療機器[ナノテクノロジー等]総合推進研究)
血管内皮細胞選択的ナノDDS技術を基盤とする革新的治療の血管新生療法の新製	江頭 健輔	循環器内科	533 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
虚血肢治療用低侵襲ナノ粒子製剤の実用化	江頭 健輔	循環器内科	8,035 万円	補 文部科学省 科学技術振興機構
心不全発症・進展における交感神経活性化:新たな枠組みおよび制御機構の解明	廣岡 良隆	循環器内科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
肺高血圧から右心不全に至る新たな視点としての自律神経系の役割解明・制御機構の開発	廣岡 良隆	循環器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
圧負荷心肥大から心不全に至る過程におけるニューレグリン系を標的とした治療戦略	廣岡 良隆	循環器内科	100 万円	補 公益財団法人 先進医薬研究振興財団
圧負荷心肥大における食塩感受性獲得機構としての炎症性サイトカインを介した交感神経活性化機構の解明	廣岡 良隆	循環器内科	90 万円	補 公益財団法人 ソルトサイエンス研究財団
心血管病変形成におけるコリン作動性抗炎症経路の役割の解明と治療への応用	市来 俊弘	循環器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
心血管リモデリングにおけるマクロファージ低酸素応答系の役割の解明と治療への応用	市来 俊弘	循環器内科	100 万円	補 公益財団法人 先進医薬研究振興財団
Proyl hydroxylase domain protein阻害による生活習慣病治療の試み	市来 俊弘	循環器内科	50 万円	補 公益財団法人 日本応用酵素協会
ミトコンドリアDNAの抗リモデリング効果の機序解明と新たな治療方法の確立	井手 友美	循環器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
N-アセチルグリコサミン代謝によるマクロファージ機能制御と動脈硬化における役割	北本 史朗	循環器内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
単球M1/M2分化制御による大動脈瘤進展・破裂に対する新しいナノ治療法の研究開発	的場 哲哉	循環器内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
ナノ粒子・薬剤送達システムによる心筋虚血再灌流傷害治療の開発	的場 哲哉	循環器内科	50 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
慢性心不全における交感神経活動活性化機序としての脳内アストロサイト異常解明	岸 拓弥	循環器内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
脳内AT1受容体・アストロサイトを標的とする交感神経抑制を介した新たな動脈硬化治療	岸 拓弥	循環器内科	100 万円	補	公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団
心血管疾患におけるマイクロRNA発現評価と発現調節による新規治療の開発	得能 智武	循環器内科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
睡眠時無呼吸症候群患者における各種マイクロのRNA発現変化と、低酸素マーカーとしての有用性検討	得能 智武	循環器内科	50 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
新しい肺高血圧症モデルを用いた骨髄由来内皮前駆細胞の病態学的役割の解明	阿部 弘太郎	循環器内科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
ヒト肺高血圧症に類似した疾患モデルを用いた肺高血圧症増悪機序の解明	阿部 弘太郎	循環器内科	20 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
心不全患者における認知障害機序の解明と治療法開発	伊藤 浩司	循環器内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
メタボリック症候群における食塩感受性獲得の脳内機序の解明	伊藤 浩司	循環器内科	200 万円	補	公益財団法人 鈴木謙三記念 医科学応用研究財団
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究	中西 洋一	呼吸器科	2,100 万円	委	文部科学省委託研究(次世代がん研究戦略推進プロジェクト)
子宮体癌幹細胞を標的にした新規治療法の開発	加藤 聖子	産科婦人科	364 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
子宮体癌幹細胞形質獲得機構の解明と幹細胞マーカーの同定	加藤 聖子	産科婦人科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
卵巣癌腹膜播種に対するTatペプチドをベクターとしたカルボニンh1遺伝子治療	小林 裕明	産科婦人科	312 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
RCAS1をターゲットとした新たながん治療戦略の構築	園田 頭三	産科婦人科	273 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
子宮肉腫に対する診断法および標準的治療法の確立に関する研究	奥川 馨	産科婦人科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
胞状奇胎後続発症のリスク因子と、臨床上有用な続発症予測マーカーの同定	兼城 英輔	産科婦人科	195 万円	補 平成24年度科学研究費助成事業文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
婦人科悪性腫瘍の転移を制御するシグナル伝達経路の解析	八木 裕史	産科婦人科	182 万円	補 平成25年度科学研究費助成事業文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
酸化ストレスの視点から見た胎盤機能不全における絨毛細胞機能障害機構の解明	福嶋 恒太郎	産科婦人科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
胎児環境が、胎児の行動発達および小児の精神・行動発達に及ぼす影響に関する研究	諸隈 誠一	産科婦人科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
マウス胎盤形成に関わる核マトリックス関連蛋白Satbの解析	浅野間 和夫	産科婦人科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
対立遺伝子間遺伝子発現相違に起因する子宮体癌発症メカニズムの解明	恒松 良祐	産科婦人科	195 万円	補 平成25年度科学研究費助成事業文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	原 寿郎	小児科	4,440 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	原 寿郎 (分担)	小児科	400 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
血液免疫系細胞分化障害による疾患の診断と治療に関する調査研究	原 寿郎	小児科	400 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	原 寿郎	小児科	200 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
免疫性神経疾患に関する調査研究	原 寿郎	小児科	95 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
原発性免疫不全症候群患者支援団体による患者レジストリの構築を通じた研究支援体制の構築に関する研究	原 寿郎	小児科	30 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
小児新生児期における遺伝性血栓症(プロテインC異常症を含む)の効果的診断と治療予防法の確立に関する研究	大賀 正一	小児科	475 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
遺伝性貧血の病態解明と診断法の確立に関する研究	大賀 正一	小児科	100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
先天性角化不全症の効果的診断方法の確立と治療ガイドラインの作成に関する研究	大賀 正一	小児科	25 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
先天性免疫不全症候群の病態解明と予後改善に関する研究	高田 英俊	小児科	300 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
IRAK4欠損症の全国症例数把握及び早期診断スクリーニング・治療法開発に関する研究	高田 英俊	小児科	80 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究	石崎 義人	小児科	150 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
傍シルビウス裂症候群の病態に基づく疾患概念の確立と新しい治療法の開発に関する研究	鳥巢 浩幸	小児科	30 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究)
原発性免疫不全症における遺伝子変異の修復による自己細胞再生療法の開発	原 寿郎	小児科	871 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
胎児子宮内発育遅延の新しい病因としての自然免疫受容体NOD1リガンドの解析	原 寿郎	小児科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
精神遅滞関連タンパク質複合体による生後脳発達の制御メカニズムに関する研究	酒井 康成	小児科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
日本人自閉症児に見られる新規染色体コピー数変異の探索	酒井 康成	小児科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
川崎病類似冠動脈炎マウスモデルの遺伝子発現に基づいた新たな川崎病治療戦略の検討	永田 弾	小児科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
血球貪食症候群における包括的治療法確立に関する研究	大賀 正一	小児科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
川崎病類似冠動脈炎モデルマウスを用いた川崎病罹患後の動脈硬化のメカニズム解析	田中 珠美	小児科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
小児期のホルモンと免疫系細胞・脂肪細胞の分化増殖ネットワークの解明	井原 健二	小児科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
CARD15の炎症性疾患における病態形成機序に関する研究	高田 英俊	小児科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
母児免疫性血小板減少症および早発黄疸の予測因子の検索	落合 正行	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
発達障害児における言語性短期記憶の神経基盤と遺伝子多型の効果の解明	實藤 雅文	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
TAMによる肝線維化とCCL2の関連	金城 唯宗	小児科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
CINCA症候群における動脈硬化の生理学的・生化学的バイオマーカーによる解析	山村健一郎	小児科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
わが国初の小児ホジキンリンパ腫における予後予測因子同定および病態解析	大場 詩子	小児科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
川崎病類似NLRリガンド誘発冠動脈炎モデルの病態の検討	西尾 壽乗	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
XLA患者骨髄造血幹細胞移植humanizedマウスにおけるヒトB細胞の分化	土居 岳彦	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
再発小児白血病におけるサイトカイン発現特異性の解明と早期予知法の開発	古賀 友紀	小児科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
膵癌浸潤を先導するリーディングセルの解明:第3の浸潤機構に基づく癌治療の新展開	田中 雅夫	第一外科	650 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
人工ウイルスによる画像診断に基づく個別化治療選択の確立	田中 雅夫	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
膵癌における新規遺伝子制御機能microRNA activationの解明と応用	永井 英司	第一外科	650 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
薬剤送達改善を目指した星細胞標的化desmoplasia制御と膵癌治療への応用	永井 英司	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
膵癌のdesmoplasia形成責任間質細胞の同定とその起源解明及びその機能制御	水元 一博	第一外科	650 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
代謝物を指標とした膵癌早期診断・個別化治療の新展開-メタボローム解析の臨床応用-	水元 一博	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
癌間質相互作用を制御する星細胞関連miRNAの同定とその制御機構の解明	富永 洋平	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
エクソソームを介した細胞外miRNA分泌に注目した癌間質相互作用研究の新展開	当間 宏樹	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
癌の悪性度に関わる特定星細胞の同定	難波江 俊永	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
膵癌微小環境を構築する星細胞のphenotypingとその制御による新規治療開発	上田 純二	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
Autophagyに注目した膵癌薬剤耐性の機序解明と治療への応用	大塚 隆生	第一外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
膵癌間質細胞の腫瘍免疫における新しい役割の解明とその応用による膵癌治療の新基軸	井上 重隆	第一外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
膵癌早期診断に有用なMRI造影剤内包ナノ粒子の開発	坂井 寛	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
膵癌微小環境に着目したウイルス治療の新展開-間質におけるウイルス拡散と導入効率-	安井 隆晴	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
新規人工ウイルスによる分子イメージングの確立と膵癌個別治療への展開	大内田 研宙	第一外科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
癌間質ニッチに存在する膵癌浸潤/転移責任間質細胞同定とその制御による新規治療開発	大内田 研宙	第一外科	598 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
乳癌遠隔転移における間様系幹細胞(MSC)の役割の解明とその臨床的意義の検討	白羽根 健吾	第一外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
癌間質制御の新しいアプローチ—膵間質細胞のセネセンスと間葉系幹細胞誘導の関わり—	宮坂 義浩	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
エンドサイトーシスからのエスケープ機能を装備した新規治療用人工ウイルスの開発	江上 拓哉	第一外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
分子生物学的解析に基づく膵癌間質制御の新展開	藤田 逸人	第一外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
膵癌抑制効果を有する特異的間質細胞の同定および新規膵癌治療法の開発	森山 大樹	第一外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
膵癌微小環境に基づく放射線抵抗機序解明と新規人工ウイルスによる責任間質細胞の制御	鬼丸 学	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
膵癌癌間質相互作用におけるオートファジーの役割	仲田 興平	第一外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
膵臓星細胞活性化におけるオートファジーの役割	仲田 興平	第一外科	384.7 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 第3次対がん総合戦略研究
ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立	前原 喜彦	第二外科	2,399 万円	補	厚生労働科学研究補助金 疾病・障害対策研究分野 肝炎等克服緊急対策研究
難治性悪性中皮腫へ臨床応用可能な分子メス:「バイオナイフ」の研究開発	前原 喜彦	第二外科	2,301 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
がん幹細胞のGenetic instabilityに着目した新しい癌治療の構築	前原 喜彦	第二外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
肝癌の微小環境における炎症の機序解明とPD-1シグナル制御による革新的治療の開発	調 憲	第二外科	975 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
オートファジーからみた病的肝再生の病態解明	調 憲	第二外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
喫煙・飲酒による食道癌発癌における癌抑制遺伝子異常の機序解明と治療戦略の構築	森田 勝	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
肺癌における染色体不安定性の解明と治療抵抗性克服への展開	岡本 龍郎	第二外科	273 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
肝移植後の肝癌再発進展に於ける腫瘍関連マクロファージの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
がん幹細胞・ニッチに注目した胃癌の抗癌剤感受性に関する検討	吉永 敬士	第二外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
動脈硬化病変の進展における老化制御遺伝子(BuBR1)の関与と新しい制御法の開発	郡谷 篤史	第二外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
非小細胞肺癌におけるEMT関連遺伝子の同定・解析と腫瘍制御への新しい展開	庄司 文裕	第二外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
DNA2重鎖切断修復機構の制御による難治性消化器癌に対する革新的治療戦略	佐伯 浩司	第二外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
大腸癌における細胞分裂期チェックポイント異常の系統的解明と分子標的治療への応用	鴻江 俊治	第二外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
病的肝の再生過程におけるオートファジーの分子機序解明	吉住 朋晴	第二外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
ホルモン受容体陽性乳癌におけるホルモン感受性の分子機序の解明と個別化治療への応用	徳永 えり子	第二外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
特発性大腿骨頭壊死症の病因遺伝子解析と予防法開発への応用	岩本 幸英 (主任)	整形外科	10,000 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	岩本 幸英 (主任)	整形外科	6,500 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	岩本 幸英	整形外科	1,350 万円	補	厚生労働科学研究費補助金・疾病・障害対策研究分野 がん臨床研究
白蓋後捻は変形性股関節症の発生要因になりうる -形態学のおよび生体力学的検討-	中島 康晴	整形外科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
骨粗鬆症性軟骨下脆弱性骨折による関節破壊のメカニズムの解析	山本 卓明	整形外科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
骨形成能をもった未熟細胞に着目した骨損傷治癒のメカニズムに関する研究	大石 正信	整形外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
関節軟骨変性過程において鍵となる遺伝子発現制御因子の探索	岡崎 賢	整形外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
骨・関節発生および骨代謝におけるTGFβ-1型受容体の役割の解析	松延 知哉	整形外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤SAHAのオートファジー細胞死誘導機構の解析	岡田 貴充	整形外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
軟骨肉腫幹細胞に注目した、新規軟骨肉腫治療法の開発	松本 嘉寛	整形外科	101 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
血管病の観点から行うステロイド性骨壊死の病態解明	本村 悟朗	整形外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
骨・関節表現型におよぼすMMP2変異の影響の解明	福士 純一	整形外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
G蛋白質共役型受容体を標的としたくも膜下出血後脳血管攣縮に対する新規治療法の開発	佐々木 富男	脳神経外科	520 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
脳虚血時の血管周皮細胞におけるシグナル伝達機構の解明	佐々木 富男	脳神経外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
microRNAによる脳腫瘍幹細胞能制御機構の解明と治療への応用	溝口 昌弘	脳神経外科	364 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
悪性神経腫瘍におけるCOX-2の発現意義と治療への応用	吉本 幸司	脳神経外科	364 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
網羅的遺伝子発現解析による脳血管攣縮発症メカニズムの解明とバイオマーカーの探索	吉川 雄一郎	脳神経外科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
膠芽腫組織におけるDNA損傷応答のダイナミクスー新たな治療法の確立にむけてー	吉本 幸司	脳神経外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
間葉系幹細胞によるマクロファージ機能抑制機構の解明と新たな脳動脈瘤治療法の開発	中溝 玲	脳神経外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
エキソソームmicroRNA発現解析に基づく新たな脳腫瘍バイオマーカー同定の試み	溝口 昌弘	脳神経外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
次世代シーケンサーによるグリオーマLOH領域の網羅的解析	秦 暢宏	脳神経外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
ウサギの脊髄局所冷却による脊髄保護効果と小胞体ストレス反応の関係についての検討	中島 淳博	心臓血管外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
虚血性心筋症に対する末梢血単核球移植による治療法の開発	西田 誉浩	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
ウサギの脊髄局所冷却による脊髄保護効果とオートファジーの関連についての検討	藤田 智	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査とシームレスなガイドライン作成	田口 智章	小児外科	214 万円	補	厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患研究班情報(研究奨励分野)
先天性横隔膜全欠損に対する遺伝子導入および再生医療を応用した新規治療法の開発	田口 智章	小児外科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
先天性代謝異常症および凝固異常症に対する乳歯幹細胞を用いた肝再生療法の開発	田口 智章	小児外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
キメラズ解析による胆道閉鎖症成因の解明	林田 真	小児外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
MYCNTトランスジェニックマウスを用いた神経芽腫新規分子標的治療の開発	宗崎 良太	小児外科	150 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
自家間葉系幹細胞を用いた先天性横隔膜ヘルニアの低形成肺に対する再生医療	永田 公二	小児外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
小児固形悪性腫瘍におけるGLYPICAN3をターゲットとした分子標的治療	木下 義晶	小児外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
先天性肝疾患に対する乳歯歯髄幹細胞を用いた肝立体構造体による新規治療法の開発	柳 佑典	小児外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
小児における安全な低侵襲治療(NOTES・SPS)用治療機器の開発	家入 里志	小児外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆 (主任)	皮膚科	21,480.1 万円	補	厚生労働科学研究費補助金・健康安全確保総合研究分野 食品の安心・安全確保推進研究
アトピー性皮膚炎の発症・症状の制御および治療法の確立普及に関する研究	古江 増隆	皮膚科	1,774.5 万円	補	厚生労働科学研究費補助金・疾病・障害対策研究分野 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究
悪性黒色腫におけるCD10発現の生物学的意義と新規治療法の開発	師井 洋一	皮膚科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
皮膚における、抗真菌薬の新しい抗炎症・レドックス制御作用に関する研究	高原 正和	皮膚科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
皮膚悪性腫瘍微小環境が樹状細胞を介した免疫反応に与える影響の解析	中原 剛士	皮膚科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
痒み・搔破行動のアレルギー性皮膚炎に対する影響	竹内 聡	皮膚科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
ロイコトリエン受容体を皮膚バリア機能の改善に応用する	千葉 貴人	皮膚科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
低活動膀胱の画期的治療法の基盤的研究ートロポニンシステムの構築を中心としてー	梶岡 俊一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
アンドロゲン受容体シグナルと酸化ストレスのクロストーク	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
ヒトおよびモルモット膀胱間質細胞の形態および生理的特性の解明	関 成人	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
前立腺癌におけるアンドロゲン受容体の分子調節機構の解明と治療標的分子の同定	横溝 晃	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
腎癌の癌化、増殖、浸潤におけるグリシン エヌメチルトランスフェラーゼの重要な役割	宋 裕賢	泌尿器・前立腺・ 腎臓・副腎外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(若手研究B)
うつ病の病態を反映する血中バイオマ ーカーの開発・実用化研究	神庭 重信	精神科神経科	5,000 万円	補 厚生労働科学研究費補助金(難病・がん 等の疾患分野の医療の実用化研究事業 (精神疾患関係研究分野))
脳画像および神経生理学的手法を用い た精神疾患前駆状態の早期介入にともな う研究	神庭 重信	精神科神経科	1,200 万円	補 若手研究者戦略的海外派遣事業費補助 金(頭脳循環を加速する若手研究者戦略 的海外派遣プログラム)
アルツハイマー病の危険因子の解明と予 防に関する大規模ゲノム疫学研究	神庭 重信	精神科神経科	100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金・疾病・ 障害対策研究分野 認知症対策総合 研究
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦 略のためのデータベース構築に関する研 究	神庭 重信	精神科神経科	40 万円	補 厚生労働科学研究費補助金(障害 者対策総合研究事業(精神障害分 野))
精神神経医学分野に関する学術研究動 向調査研究	神庭 重信	精神科神経科	187 万円	補 独立行政法人日本学術振興会
免疫負荷うつ病モデルマウスを用いた、う つ病の関連脳部位と細胞傷害の解明	神庭 重信	精神科神経科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究B)
地域高齢住民におけるうつ病の実態とそ の危険因子の解明に関する横断・縦断研 究	小原 知之	精神科神経科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
溜め込み障害と強迫性障害の臨床のおよ び生物学的差異の検討	中尾 智博	精神科神経科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
活性化ヒトグリア細胞による神経毒性の研 究	橋岡 禎征	精神科神経科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
統合失調症患者における音声処理につ いての研究	平野 昭吾	精神科神経科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(若手研究B)
自我障害は統合失調症に特異的か? - 自我障害の神経基盤研究	鬼塚 俊明	精神科神経科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
口腔癌患者の術後せん妄の発症予測に 関する生物学的指標の探索	光安 博志	精神科神経科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
強迫性障害の前向き長期予後研究	中尾 智博	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
脳画像解析と分子遺伝学的解析による強 迫性障害の病態研究	川寄 弘詔	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
気分障害患者における認知機能障害の 生物学的基盤に関する研究	三浦 智史	精神科神経科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学 研究補助金(基盤研究C)
網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝 子治療臨床研究	石橋 達朗	眼科	3,900 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 厚生科 学基盤研究分野 医療技術実用化総 合研究(臨床研究推進研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
プリリアントブルー-G (BBG250)による内境界膜染色・剥離術	石橋 達朗	眼科	2,360 万円	補	公益社団法人 日本医師会 治験促進センター
個別化医療をめざした加齢黄斑変性に対するゲノム疫学研究	石橋 達朗	眼科	2,054 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
網膜色素変性患者の黄斑部循環動態の解析	石橋 達朗	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
新規プラットフォーム技術を用いた眼疾患に対する革新的核酸医薬品の開発	石橋 達朗	眼科	1,027 万円	委	独立行政法人科学技術振興機構
脳磁図を用いた咽喉頭の知覚の定量的計測	安達 一雄	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
経口免疫寛容剤を用いたスギ花粉症に対する減感作治療の検討	村上 大輔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
甲状腺未分化癌の治療法確立に向けて(SLE関連遺伝子Ifi202の治療への応用)	山内 盛泰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
工業用精密カメラを用いた非接触手術ナビゲーションの開発	松本 希	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
高悪性度唾液腺癌における上皮間葉転換に基づく治療耐性機序の解明	白土 秀樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
動物モデルを用いた頭頸部癌に対する化学予防の研究	中島 寅彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
脳幹における嚥下関連ニューロンネットワークの生理学的ならびに組織学的研究	梅崎 俊郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
上皮細胞増殖因子受容体の内在化を標的とした新しい頭頸部がんの治療戦略に関する研究	藤 賢史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
高磁場MRIを用いた微小再発真珠腫の検出法および術前診断支援システムの開発	山下 孝二	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
アルツハイマー病発症前診断のためのマルチパラメトリックMRIの開発	吉浦 敬	放射線科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
新たな磁気共鳴撮像法を用いた定量的な関節軟骨障害の早期検出・重症度評価法の開発	高山 幸久	放射線科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
虚血性心疾患におけるシネタギングとファーストパス心筋血流MRIの有用性の検討	長尾 充展	放射線科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
機能画像を用いた低リスク肺癌高精度放射線治療の最適化に関する研究	塩山 善之	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
SPIO-MRIを用いた肝機能・肝線維化の評価法の確立	西江 昭弘	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
肝幹細胞由来の癌の血管新生および腫瘍間質に関する画像解析	浅山 良樹	放射線科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究	古庄 憲浩	総合診療科	200 万円	委	厚生労働省・科学研究費補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業
動脈硬化予防に関する研究	古庄 憲浩	総合診療科	100 万円	補	公益信託 日本動脈硬化予防研究基金
電子的医療情報の利活用に必要な標準化の整備と普及に関する研究	康 東天(分担)	検査部	150 万円	補	厚生労働科学研究費補助金・地域医療基盤開発推進研究事業
癌、糖尿病、老化の病態解析と診断に向けた先端的ミトコンドリア機能解析法の開発	康 東天	検査部	1,482 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
p32遺伝子ノックアウトによる活性酸素産生、電子伝達系、サイトカイン産生の変化	康 東天	検査部	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
ミトコンドリアRNAシャペロンp32の分子基盤と病態解析	内海 健	検査部	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
マイトファジー誘導機序の解明とその臨床検査への応用	青木 義政	検査部	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
アルツハイマー病とミトコンドリアDNA多型の大規模解析	康 東天	検査部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
ミトコンドリア病治療を目的としたミトコンドリア内での外来遺伝子発現の基礎的研究	松島 雄一	検査部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
TFAMを中心としたヒトミトコンドリアヌクレオイドの構造および機能の解明	高崎 伸也	検査部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
吸入麻酔薬による脳梗塞予後改善と機序の解明。免疫抑制は関与するか?	秋吉 浩三郎	手術部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
インビボパッチクランプによる麻酔薬の脊髄膠様質抑制性、興奮性神経細胞に対する作用	山浦 健	手術部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
静脈麻酔薬が血管平滑筋のアンジオテンシンII受容体に及ぼす影響の検討	宮崎 良平	手術部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究	中村 和正	放射線部	1,077 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 第3次対がん総合戦略研究
拡張現実感技術を用いた新しい放射線治療のセットアップ手法の開発	中村 和正	放射線部	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
サイバーナイフ治療におけるマシンビジョンシステムを用いた位置認識システムの開発	中村 和正	放射線部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
経皮的椎体形成術の患者選択における術前画像診断法の確立	樋渡 昭雄	放射線部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
悪性軟部腫瘍におけるシグナル伝達分子異常の解析と分子標的治療の可能性の研究	小田 義直	病理部	273 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
胆管癌における胆管レベルによる発癌・進展機構の違い:胆汁酸受容体と糖代謝に関して	相島 慎一	病理部	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
胃腸管間質腫瘍における低酸素応答関連分子異常の臨床病理学的意義に関する研究	山元 英崇	病理部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
卵巣明細胞腺癌の生物学的特性の解明	大石 善丈	病理部	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
SMARCB1/INI1 蛋白陰性悪性腫瘍の再分類と治療への応用	孝橋 賢一	病理部	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
難治性肺非小細胞癌における分子治療標的の検索	古賀 孝臣	病理部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
新規腫瘍免疫回避機構の責任分子同定と回避機序解明:奏功規定バイオマーカー探索へ	岡野 慎士	病理部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
IT融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト/(ヘルスケア分野)IT融合による途上国向けバーチャルクリニック構築事業	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,500 万円	補	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構公募事業
学術用超高速インターネットを利用した遠隔医療ネットワークの世界展開	清水 周次	光学医療診療部	819 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
潰瘍性大腸炎関連遺伝子多型の機能解析と治療効果への応用	浅野 光一	光学医療診療部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
微細マニピュレータ及び画像誘導機能を有する半自立動作性内視鏡システムの開発	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,002 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
計算解剖モデルの診断・治療の融合的支援応用	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,483 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
次世代インテリジェント型ナノカプセルによる診断治療システム	橋爪 誠	先端医工学診療部	3,705 万円	補	厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業
類洞内皮細胞を標的とした肝硬変治療薬の創薬-肝線維化の細胞学的機序に関する研究	富川 盛雅	先端医工学診療部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
内視鏡外科手術における教育・トレーニングの基盤構築	田上 和夫	先端医工学診療部	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
橋渡し研究加速ネットワークプログラム「創造的次世代医療実現化を担うAROの構築」	中西 洋一 (代表)	ARO次世代医療センター	46,197.5 万円	補	文部科学省 平成24年度研究開発施設共用等促進費補助金(橋渡し研究支援)
臨床研究中核病院整備事業「次世代に最新最適医療と希望を伝えるAROの構築」	中西 洋一 (代表)	ARO次世代医療センター	51,105.6 万円	補	厚生労働省 平成24年度臨床研究中核病院整備事業補助金
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	中西 洋一 (代表)	ARO次世代医療センター	10,000 万円	補	厚生労働省 平成24年度厚生労働科学研究費補助金(難病・がん等の疾患分野の医療の実現化研究事業)
癌幹細胞を標的とした新規GM-CSF遺伝子導入iPS細胞ワクチン療法の開発	井上 博之	先端分子・細胞治療科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
ヒトエンテロウイルスを用いた新規主要溶解性ウイルス療法の開発	井上 博之	先端分子・細胞治療科	260 万円	補	文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム シーズA
人工癌幹細胞を用いた新規腫瘍免疫遺伝子治療の開発	井上 博之	先端分子・細胞治療科	50 万円	補	福岡県すこやか健康事業団がん研究助成金
新規脳腫瘍マウスモデルを用いた膠芽腫発生機構の解明	丸本 朋稔	先端分子・細胞治療科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
膠芽腫に対する新規治療戦略の開発	丸本 朋稔	先端分子・細胞治療科	500 万円	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団研究助成金
進行固形腫瘍患者に対する化学療法併用新規免疫細胞療法の検討	土方 康基	先端分子・細胞治療科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
均一な微小環境の構築による人工多能性幹細胞からの高効率血管内皮前駆細胞分化誘導法の確立	丸本 朋稔	先端分子・細胞治療科	100 万円	補	公益財団法人 先進医療研究振興財団
複数遺伝子搭載型新規麻疹ウイルスベクターを用いた安全かつ効率的なヒトiPS細胞樹立技術の開発	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	1,000 万円	補	文部科学省 再生医療の実現化プロジェクト
コクサッキーウイルスB群3型を用いた悪性腫瘍に対する斬新な腫瘍溶解療法の臨床開発	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	1,326 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
癌に対する新たなコンドロイチン硫酸ポリマー修飾腫瘍溶解性麻疹ウイルス療法開発のための前臨床研究	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	5,200 万円	委	厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 創薬基盤推進研究(政策創薬探索研究)
癌幹細胞を制御する転写因子を標的とした難治性乳癌治療法の開発	谷口 博昭	先端分子・細胞治療科	500 万円	委	厚生労働科研(難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業)
薬剤性腎障害発現における腎細胞分子機構の解明と腎保護薬に関する薬理学的研究	矢野 貴久	薬剤部	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
抗がん剤による末梢神経障害性疼痛の発現機序解明と対応策の確立	川尻 雄大	薬剤部	100 万円	補	公益財団法人 中富健康科学振興財団
小児がん化学療法の均てん化に向けた地域連携ネットワークの構築	三嶋 一登	薬剤部	50 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
造血幹細胞移植における大量化学療法時のアプレピタントの有用性と安全性の評価	内田 まよこ	薬剤部	30 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
Naチャンネル遮断薬やCa拮抗薬使用患者でのオキサリプラチン誘発末梢神経障害の解析	山内 結衣	薬剤部	30 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
注射剤による静脈炎のリスク因子解析と予防策の確立に向けた薬学的介入	光永 麻衣子	薬剤部	30 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
がん治療における痛みと情動・ストレスに関する薬理学的研究	江頭 伸昭	薬剤部	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
抗がん剤投与に伴う血管障害の発現機序に関する研究	山田 孝明	薬剤部	30 万円	補	財団法人福岡県すこやか健康事業団
簡便で非侵襲的な覚醒中の口輪筋トレーニングによる、閉塞性睡眠時無呼吸の治療法確立	西坂 麻里	睡眠時無呼吸センター	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
乳歯による高齢者の若返り医療を開拓する発生・細胞学的研究	野中 和明	小児歯科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
生物学的母子関係の解明に関する研究	山座 治義	小児歯科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
ミトコンドリアの形態変化と口腔顎顔面組織発生との関係解明	増田 啓次	小児歯科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
新規の歯根膜幹細胞表面抗原および歯根膜マーカーを活用した歯周組織再生法の開発	和田 尚久 (代表)	歯内治療科	1,352 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
歯根膜細胞由来のiPS細胞の作製と歯根膜組織再生法の開発	赤峰 昭文 (代表)	歯内治療科	1,092 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
歯根膜を有した次世代型人工歯根の開発	前田 英史 (代表)	歯内治療科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
IL-11を用いた歯根膜組織再生の解析	門野 内聡 (代表)	歯内治療科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
アンギオテンシンIIを用いた成功率の高い意図的歯牙再植術の開発	前田 英史 (代表)	歯内治療科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
歯髄幹細胞は歯牙再植時の歯周組織再生の細胞源となりうるか?	和田 尚久 (代表)	歯内治療科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
レーザーを応用した新しい抜髄法の開発	吉嶺 嘉人 (代表)	歯内治療科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
二相分配法による安定型高次構造リポ多糖の分離と病原性の解析	藤瀬 修	歯周病科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)		補助元又は委託元
bFGFシグナル伝達のアンタゴニストを標的とした歯周組織再生治療薬の創薬	讃井 彰一	歯周病科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
新規エナメル基質蛋白会合分子を標的とした歯周組織再生のプロテオーム創薬	福田 隆男	歯周病科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
Δ Np63を介した上皮-間葉転換による口腔扁平上皮癌の発生、浸潤、転移機構の解明	川野 真太郎	顎口腔外科	100 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
サイトケラチンは口腔癌難治症例の新たな予後因子となりうるか?	豊嶋 健史	顎口腔外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
新疾患概念「ミクリッツ病/IgG4関連疾患」の病因解明に向けての分子生物学的検討	森山 雅文	顎口腔外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
近赤外線、MRI、超音波を用いたシェーグレン症候群の非侵襲的画像診断法の確立	清水 真弓	口腔画像診断科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
MRIによる頭頸部病変のpermeability及びperfusionの総合評価	筑井 徹	口腔画像診断科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
DTTおよびASLを用いた摂食時における脳内活動ネットワークシステムの探索	加美 由紀子	口腔画像診断科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
咀嚼運動と記憶・認知機能の関連	中村 優子	口腔画像診断科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
卒直後研修歯科医のスキルアップを目的としたシェードテイキング能力養成システム開発	伊吹 禎一	口腔総合診療科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
口腔扁平上皮がん細胞の上皮増殖因子による増殖調節機構の解明	安部 喜八郎	全身管理歯科	50 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
エナメル上皮腫による新しい直接的骨溶解機構の解明	森田 浩光	全身管理歯科	330 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

合計 301 件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Infect Chemother. 2012 Oct;18(5):741-6.	Fatal candidemia caused by azole-resistant <i>Candida tropicalis</i> in patients with hematological malignancies	下田 慎治	第一内科
Biol Blood Marrow Transplant. 2012 Sep;18(9):1407-14.	Peripheral blood as a preferable source of stem cells for salvage transplantation in patients with graft failure after cord blood transplantation: A retrospective analysis of the registry data of the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation	加藤 光次	第一内科
Blood. 2012 Aug 23;120(8):1734-41.	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult T-cell leukemia-lymphoma with special emphasis on preconditioning regimen: a nationwide retrospective study	加藤 光次	第一内科
Rinsho Ketsueki;2012 Dec;53(12):2003-7.	Diagnostic usefulness of FDG-PET/CT in multiple primary osseous Hodgkin lymphoma	亀崎 健次郎	第一内科
Am J Hematol. 2012 Aug;87(8):828-30.	Low incidence of adenovirus hemorrhagic cystitis, following autologous hematopoietic-stem cell transplantation in the rituximab era	宮本 敏浩	第一内科
Bone Marrow Transplant. 2012 Aug;47(8):1075-81.	Validation of pretransplantation assessment of mortality risk score in the outcome of hematopoietic SCT in non-Caucasians	豊嶋 崇徳	第一内科
Int J Hematol. 2012 Jul;96(1):94-100.	Initial low-dose valganciclovir as a preemptive therapy is effective for cytomegalovirus infection in allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients	永淵 正法	第一内科
Arthritis Res Ther. 2012 Nov 11;14(6)	Serum progranulin levels are elevated in patients with systemic lupus erythematosus, reflecting disease activity	田中 淳	第一内科
Allergol Int. 2012 Dec;61(4):559-62.	Guideline for hereditary angioedema (HAE) 2010 by the Japanese Association for Complement Research - secondary publication	堀内 孝彦	第一内科
Best Pract Res Clin Gastroenterol. 2012 Dec;26(6):737-53.	Pancreatic neuroendocrine tumors: clinical features, diagnosis and medical treatment: advances	伊藤 鉄英	第三内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Dig Dis. 2012 May;13(5):274-9.	Relationship between pancreatic and/or extrapancreatic lesions and serum IgG and IgG4 levels in IgG4-related diseases	五十嵐 久人	第三内科
Int J Inflam. 2012;2012:504128.	Cytosolic double-stranded DNA as a damage-associated molecular pattern induces the inflammatory response in rat pancreatic stellate cells: a plausible mechanism for tissue injury-associated pancreatitis	中村 太一	第三内科
Pancreas. 2012 May;41(4):505-7.	Serum Pancreastatin: The long sought for universal, sensitive, specific tumor marker for neuroendocrine tumors?	伊藤 鉄英	第三内科
Gut and Liver. 2012 July;6(3): 287-294	The current strategy for managing pancreatic neuroendocrine tumors in multiple endocrine neoplasia type 1	新名 雄介	第三内科
Jpn J Clin Oncol. 2012 Oct;42(10):903-11	Everolimus for advanced pancreatic neuroendocrine tumours: a subgroup analysis evaluating Japanese patients in the RADIANT-3 trial	伊藤 鉄英	第三内科
J Gastroenterol. 2012 Sep;47(9):941-60.	Therapy of metastatic pancreatic neuroendocrine tumors (pNETs): recent insights and advances	伊藤 鉄英	第三内科
World J Gastroenterol. 2012 Oct 21;18(39):5495-503.	Diagnosis of Zollinger-Ellison syndrome: increasingly difficult	伊藤 鉄英	第三内科
Expert Opin Pharmacother. 2013 Feb;14(3):307-21.	Pharmacotherapy of Zollinger-Ellison syndrome	伊藤 鉄英	第三内科
Lab Invest. 2013 Jan;93(1):41-53.	ERK pathway and sheddases play an essential role in ethanol-induced CX3CL1 release in pancreatic stellate cells	内田 匡彦	第三内科
World J Gastroenterol. 2013 Jan 7;19(1):35-41.	Retroperitoneal fibrosis associated with IgG4-related disease	藤森 尚	第三内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Advances in Neuroimmune Biology 3,3-17,2012.	Mechanisms of psychogenic fever	岡 孝和	心療内科
心身医学52,745-752,2012	失体感症尺度(体感への気づきチェックリスト)の開発—大学生を対象とした基礎研究—	岡 孝和	心療内科
Biopsychosoc Med. 2013 Mar 8;7(1):7.	Psychological stress contributed to the development of low-grade fever in a patient with chronic fatigue syndrome: a case report	岡 孝和	心療内科
Sleep and Biological Rhythms:2012 Apr;10(2):126-135.	Factors that predict adherence to continuous positive airway pressure treatment in obstructive sleep apnea patients: A prospective study in Japan	棚橋 徳成	心療内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2012 Dec 1;303(11):G1288-95.	Critical role of gut microbiota in the production of biologically active, free catecholamines in the gut lumen of mice	朝野 泰成	心療内科
Pain Med. 2012 Apr;13(4):541-51.	Pain questionnaire development focusing on cross-cultural equivalence to original questionnaire: the Japanese version of the Short-Form McGill Pain Questionnaire	細井 昌子	心療内科
Pain Med. 2012 May;13(5):677-87.	Global catastrophizing versus catastrophizing subdomains: Assessment and associations with patient functioning	岩城 理恵	心療内科
Rehabilitation Psychology, 2012 Aug;57(3):207-13	Cognitions and chronic pain adjustment: Process and content factors	細井 昌子	心療内科
Pharmacology. 2013;91(3-4):145-52.	Reduction of group II metabotropic glutamate receptors during development of benzodiazepine dependence	細井 昌子	心療内科
Neuroimage. 2012 Nov 15;63(3):1011-9.	Daily physical complaints and hippocampal function: An fMRI study of pain modulation by anxiety	権藤 元治	心療内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Multiple Sclerosis:2012 Jun;18(6):807-816.	Comparison of clinical, immunological and neuroimaging features between anti-aquaporin-4 antibody-positive and antibody-negative Sjogren's syndrome patients with central nervous system manifestations	リワンティ・エスティアサリ	神経内科
Exp Neurol. 2012 Apr;234(2):437-45.	Impaired recruitment of neuroprotective microglia and T cells during acute neuronal injury coincides with increased neuronal vulnerability in an amyotrophic lateral sclerosis model	河村 真実	神経内科
J Neurol Sci. 2012 May 15;316(1-2):30-5.	First diagnostic criteria for atopic myelitis with special reference to discrimination from myelitis-onset multiple sclerosis	磯部 紀子	神経内科
Mult Scler. 2012 Nov;18(11):1541-51.	Quantitative assays for anti-aquaporin-4 antibody with subclass analysis in neuromyelitis optica	磯部 紀子	神経内科
Acta Neuropathol. 2012 Jun;123(6):887-900.	Extensive loss of connexins in Baló's disease: evidence for an auto-antibody-independent astrocytopathy via impaired astrocyte-oligodendrocyte/myelin interaction	真崎 勝久	神経内科
J Neuroimmunol. 2012 May 15;246(1-2):108-12.	Clinical disability progression and platelet GP IIb/IIIa values in patients with atopic myelitis	グリバハル・ア イニディン	神経内科
J Neuroimmunol. 2012 Oct 15;251(1-2):110-3.	HLA-DPB1* 0201 is associated with susceptibility to atopic myelitis in Japanese	佐藤 真也	神経内科
Curr Alzheimer Res. 2013 Jan;10(1):11-20.	Intracellular accumulation of toxic turn amyloid- β is associated with endoplasmic reticulum stress in Alzheimer's disease	副島 直子	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2013 Jan;84(1):29-34.	Distinct genetic and infectious profiles in Japanese neuromyelitis optica patients according to anti-aquaporin 4 antibody status	吉村 怜	神経内科
PLoS One. 2012;7(11):e48592.	Genetic and infectious profiles of Japanese multiple sclerosis patients	吉村 怜	神経内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Regul Pept. 2012 Aug 20;177(1-3):35-9	Resveratrol attenuates angiotensin II-induced senescence of vascular smooth muscle cells	市来 俊弘	循環器内科
J Endocrinol. 2012 Jun;213(3):285-91.	Beraprost sodium, a stable prostacyclin analogue, improves insulin resistance in high-fat diet-induced obese mice	井上 恵利子	循環器内科
Clin Sci (Lond). 2012 Aug 1;123(4):241-9.	Acetylcholinesterase inhibitors attenuate angiogenesis	宮崎 良平	循環器内科
Intern Med. 2012;51(17):2263-70.	Leg heating using far infra-red radiation in patients with chronic heart failure acutely improves the hemodynamics, vascular endothelial function, and oxidative stress	井上 修二郎	循環器内科
Intern Med. 2012;51(4):357-62.	Usefulness of non-contact mapping for radiofrequency catheter ablation of inappropriate sinus tachycardia: new procedural strategy and long-term clinical outcome	竹本 真生	循環器内科
Am J Pathol.:2013 Jul;183(1):313-25.	Chitinase inhibition promotes atherosclerosis in hyperlipidemic mice	北本 史朗	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2012 Oct;32(10):2427-34.	Nanoparticle-mediated delivery of pioglitazone enhances therapeutic neovascularization in a murine model of hindlimb ischemia	長濱 良治	循環器内科
J Atheroscler Thromb. 2012;19(11):986-98.	Dietary cholesterol oxidation products accelerate plaque destabilization and rupture associated with monocyte infiltration/activation via the MCP-1-CCR2 pathway in mouse brachiocephalic arteries: therapeutic effects of ezetimibe	佐藤 敬	循環器内科
Journal of Cardiology Cases:2012:April, 5(2), e100-e106 .	Recurrence of Takotsubo cardiomyopathy with coronary slow flow phenomenon	得能 智武	循環器内科
Circulation. 2013 Jan 1;127(1):104-14.	Pivotal role of Rho-associated kinase 2 in generating the intrinsic circadian rhythm of vascular contractility	斎藤 寿郎	循環器内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mitochondrion. 2012 Jul;12(4):449-58	Recombinant mitochondrial transcription factor A protein inhibits nuclear factor of activated T cells signaling and attenuates pathological hypertrophy of cardiac myocytes	藤野 剛雄	循環器内科
Hypertens Res. 2013 Jun;36(6):513-9	Role of hypothalamic angiotensin type 1 receptors in pressure overload-induced mineralocorticoid receptor activation and salt-induced sympathoexcitation	伊藤 浩司	循環器内科
Hypertens Res. 2013 Mar;36(3):277-84	Mineralocorticoid receptors/epithelial Na ⁺ channels in the choroid plexus are involved in hypertensive mechanisms in stroke-prone spontaneously hypertensive rats	中野 正紹	循環器内科
Circ J. 2012;76(12):2814-21.	Reduction of nitric oxide-mediated γ -amino butyric acid release in rostral ventrolateral medulla is involved in superoxide-induced sympathoexcitation of hypertensive rats	篠原 啓介	循環器内科
Clin Exp Hypertens. 2012;34(6):456-62.	Combination therapy of olmesartan and azelnidipine inhibits sympathetic activity associated with reducing oxidative stress in the brain of hypertensive rats	篠原 啓介	循環器内科
J Cardiol. 2012 Dec;60(6):489-94	Telmisartan protects against cognitive decline via up-regulation of brain-derived neurotrophic factor/tropomyosin-related kinase B in hippocampus of hypertensive rats	岸 拓弥	循環器内科
J Hypertens. 2012 Aug;30(8):1646-55	Angiotensin II receptor blockers improve endothelial dysfunction associated with sympathetic hyperactivity in metabolic syndrome	岸 拓弥	循環器内科
Circ J. 2012;76(8):1934-41.	Combination therapy of atorvastatin and amlodipine inhibits sympathetic nervous system activation and improves cognitive function in hypertensive rats	岸 拓弥	循環器内科
Clin Exp Hypertens. 2012;34(4):278-83.	Exercise training causes sympathoinhibition through antioxidant effect in the rostral ventrolateral medulla of hypertensive rats	岸 拓弥	循環器内科
Hypertens Res. 2012 Sep;35(9):940-6	Sympathoinhibition caused by orally administered telmisartan through inhibition of the AT ₁ receptor in the rostral ventrolateral medulla of hypertensive rats.	岸 拓弥	循環器内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hypertens. 2012 Oct;30(10):1992-9	Sympathoinhibitory effects of telmisartan through the reduction of oxidative stress in the rostral ventrolateral medulla of obesity-induced hypertensive rats.	今野 里美	循環器内科
J Hypertens. 2012 Sep;30(9):1758-65	Different role of oxidative stress in paraventricular nucleus and rostral ventrolateral medulla in cardiovascular regulation in awake spontaneously hypertensive rats.	西原 正章	循環器内科
Lung Cancer. 2012 Oct;78(1):100-6.	Expression of TrkB and BDNF is associated with poor prognosis in non-small cell lung cancer	岡村 恭子	呼吸器科
Intern Med. 2012;51(17):2399-401.	Carboplatin plus paclitaxel in the successful treatment of advanced inflammatory myofibroblastic tumor	久保 直樹	呼吸器科
Respir Res. 2013 Mar 4;14:28.	Mast cells contribute to double-stranded RNA-induced augmentation of airway eosinophilia in a murine model of asthma	神尾 敬子	呼吸器科
Am J Respir Cell Mol Biol. 2012 Jun;46(6):740-7.	IL-6 induced by double-stranded RNA augments allergic inflammation via suppression of Foxp3+ T-cell/IL-10 axis	松元 幸一郎	呼吸器科
Hum Exp Toxicol. 2012 Jun;31(6):550-6.	Effect of transient TCDD exposure on immortalized human trophoblast-derived cell lines	福嶋 恒太郎	産科婦人科
J Clin Neurosci. 2012 Oct;19(10):1358-62.	A retrospective chart review of the perinatal period in 22 pregnancies of 16 women with Moyamoya disease	福嶋 恒太郎	産科婦人科
J Biol Chem. 2012 Dec 14;287(51):42685-94.	The maternally expressed gene Tssc3 regulates the expression of MASH2 transcription factor in mouse trophoblast stem cells through the AKT-Sp1 signaling pathway	浅野間 和夫	産科婦人科
J Biol Chem. 2012 Jan 13;287(3):2257-68.	SATB homeobox proteins regulate trophoblast stem cell renewal and differentiation	浅野間 和夫	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncogene. 2012 Dec 3. doi:10.1038/onc.2012.509.	Inhibition of AHR transcription by NF1C is affected by a single nucleotide polymorphism, and is involved in suppression of human uterine endometrial cancer	恒松 良祐	産科婦人科
Hum Pathol. 2012 Oct;43(10):1618-26.	"Piling up" clear cells in mullerian-type mucinous and mixed cell-type borderline tumor do not represent concomitant clear cell neoplasms	小林 裕明	産科婦人科
Hum Immunol. 2012 Jun;73(6):623-8.	NKRP1A+ γ δ and α β T cells are preferentially induced in patients with Salmonella infection	保科 隆之	小児科
Int J Immunogenet. 2012 Apr;39(2):119-25.	Histo-blood group gene polymorphisms as potential genetic modifiers of the development of coronary artery lesions in patients with Kawasaki disease	山村 健一郎	小児科
Hum Immunol. 2012 Jun;73(6):654-60.	Genetic susceptibility to Kawasaki disease: analysis of pattern recognition receptor genes	小野山 さがの	小児科
Blood. 2013 Jan 31;121(5):862-3.	Rabbit antithymocyte globulin and cyclosporine as first-line therapy for children with acquired aplastic anemia	高橋 義行	小児科
Clin Endocrinol (Oxf). 2012 Oct;77(4):628-34.	Endocrine complications in primary immunodeficiency diseases in Japan	野崎 高史	小児科
Pediatr Blood Cancer. 2012 Aug;59(2):265-70.	Treatment choice of immunotherapy or further chemotherapy for Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis	白石 暁	小児科
Am J Med Genet A. 2013 Jan;161A(1):34-7.	Hyperinsulinemic hypoglycemia of infancy in Sotos syndrome	松尾 光通	小児科
Pediatr Int. 2012 Apr;54(2):208-14.	Tracheal aspirate gene expression of preterm newborns developing bronchopulmonary dysplasia	曳野 俊二	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Int. 2012 Aug;54(4):582.	Advanced paternal age and impaired childhood cognitive development: Reply	岩山 真里子	小児科
Appl Environ Microbiol. 2013 Jan;79(2):601-9.	Comparative analysis of Leptospira strains isolated from environmental soil and water in the Philippines and Japan	齋藤 光正	小児科
Brain Dev. 2013 Jan;35(1):61-7.	Ultrasound evaluation of fetal brain dysfunction based on behavioral patterns	諸隈 誠一	小児科
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2012 Nov;21(8):903.e5-8.	Stroke in a child safely treated with intravenous tissue plasminogen activator and edaravone, a free radical scavenger	馬場 晴久	小児科
Pediatr Infect Dis J. 2012 Jan;31(1):103-4.	Acute liver failure as the initial manifestation of Wilson disease triggered by human parvovirus b19 infection	白石 暁	小児科
Haemophilia. 2012 May;18(3):e75-7.	Complete immunotolerance induction after FEIBA prophylaxis in a hemophilia A patient with high-titer inhibitor	名西 悦郎	小児科
J Perinatol. 2013 Mar;33(3):239-41.	Neonatal asphyxia and renal failure as the presentation of severe protein C deficiency	松永 友佳	小児科
Thyroid. 2012 Oct;22(10):1080-3.	Hypothyroidism and levothyroxine-responsive liver dysfunction in a patient with ring chromosome 18 syndrome	大久保 一宏	小児科
J Pediatr Endocrinol Metab. 2012;25(1-2):171-3.	A girl with Hajdu-Cheney syndrome and premature ovarian failure	野崎 高史	小児科
Pediatr Nephrol. 2012 May;27(5):861-3.	Linear nevus sebaceous syndrome with hypophosphatemic rickets with elevated FGF-23	檜崎 亮	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Int. 2012 Jun;54(3):419-21.	Balloon occluded retrograde transvenous obliteration for congenital portosystemic venous shunt : report of two cases	永田 弾	小児科
Int J Cardiol. 2012 Nov 1;161(1):e1-3.	Efficacy of bosentan therapy for segmental pulmonary artery hypertension due to pulmonary atresia with major aortopulmonary collateral arteries in children	山村 健一郎	小児科
Diagn Microbiol Infect Dis. 2012 Oct;74(2):181-2.	Bacterial pericarditis caused by Lactobacillus iners in an infant	村田 憲治	小児科
J Pediatr Surg. 2012 Dec;47(12):2205-9.	The prognostic significance of blastemal predominant histology in initially resected Wilms' tumors: A report from the Study Group for Pediatric Solid Tumors in the Kyushu Area, Japan	木下 義晶	小児科
Pediatrics. 2013 Jan;131(1):e327-30.	Coagulopathy in patients with late-onset ornithine transcarbamylase deficiency in remission state: a previously unrecognized complication	井原 健二	小児科
Pediatr Dev Pathol. 2012 Mar-Apr;15(2):151-5.	Differential transmission and postnatal outcomes in triplets with intrauterine cytomegalovirus infection	北島 順子	小児科
Am J Surg. 2012 Jul;204(1):44-8.	Follow-up study after resection of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas; special references to the multifocal lesions and development of ductal carcinoma in the remnant pancreas	大塚 隆生	第一外科
J Epidemiol. 2012;22(1):64-71.	Genetic polymorphisms of XRCC1, alcohol consumption, and the risk of colorectal cancer in Japan	植木 隆	第一外科
Pathobiology. 2012;79(2):107-14.	Liver-intestine cadherin expression is associated with intestinal differentiation and carcinogenesis in intraductal papillary mucinous neoplasm	仲田 興平	第一外科
J Gastroenterol. 2012 Jun;47(6):678-85.	Analysis of lymph node metastasis in pancreatic neuroendocrine tumors (PNETs) based on the tumor size and hormonal production	大塚 隆生	第一外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Pancreas. 2012 Apr;41(3):455-60.	Different incretin responses after pancreatoduodenectomy and distal pancreatectomy	大塚 隆生	第一外科
J Gastroenterol. 2012 Apr;47(4):452- 60.	Targeting the hedgehog signaling pathway with interacting peptides to Patched-1	田中 晴生	第一外科
Pancreas. 2012 Oct;41(7):1008-12.	Management strategy for multifocal branch duct intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas	大塚 隆生	第一外科
Hepatogastroenterol ogy. 2012 Sep;59(118):1981-5.	Manometric evidence of earlier recovery of fasting gastric motility after antecolic duodenojejunosomy than after retrocolic duodenojejunosomy following PPPD	高畑 俊一	第一外科
Gastrointest Endosc. 2012 Aug;76(2):313-20.	Diagnostic significance of a dilated orifice of the duodenal papilla in intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas	大塚 隆生	第一外科
Surgery. 2013 Mar;153(3):357-64.	Surgery for chronic pancreatitis decreases the risk for pancreatic cancer: A multicenter retrospective analysis	上田 純二	第一外科
Hepatogastroenterol ogy. 2012 Sep;59(118):1855-8.	The risk of lymph node metastasis in mucosal gastric carcinoma: especially for a mixture of differentiated and undifferentiated adenocarcinoma	仲田 興平	第一外科
Clin Immunol. 2013 Jan;146(1):26-33.	Intratumoral FOXP3+VEGFR2+ Regulatory T Cells Are Predictive Markers for Recurrence and Survival in Patients with Colorectal Cancer	田中 雅夫	第一外科
Anticancer Res. 2012 Nov;32(11):5099- 104.	Preoperative chemoradiotherapy using cisplatin plus S-1 can induce downstaging in patients with locally advanced (stage III) non-small-cell lung cancer	片野 光男	第一外科
Anticancer Res. 2012 Jun;32(6):2385-90.	A new method for rapid cytotoxic T-lymphocyte induction using a multiple cytokine cocktail	田中 晴生	第一外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci. 2012 Jul;103(7):1272-9.	Hedgehog inhibitor decreases chemosensitivity to 5-FU and gemcitabine under hypoxic conditions in pancreatic cancer	片野 光男	第一外科
Exp Clin Transplant. 2012 Dec;10(6):561-7.	One-year follow-up of treatment with once-daily tacrolimus in de novo renal transplant	北田 秀久	第一外科
Surg Today. 2012 Apr;42(4):351-8.	Lymph node metastasis from cancer of the esophagogastric junction, and determination of the appropriate nodal dissection	掛地 吉弘	第二外科
Anticancer Res. 2012 Aug;32(8):3275-82.	Clinical significance of chemoradiotherapy and surgical resection for cT4 esophageal cancer	森田 勝	第二外科
Oncogene. 2012 Apr 26;31(17):2210-21.	Key role of ATF3 in p53-dependent DR5 induction upon DNA damage of human colon cancer cells	武谷 憲二	第二外科
Ann Surg Oncol. 2012 Oct;19(11):3627-35.	FANCI expression predicts the response to 5-fluorouracil-based chemotherapy in MLH1-proficient colorectal cancer	中西 良太	第二外科
Breast Cancer. 2012 Apr;19(2):161-9.	High incidence and frequency of LOH are associated with aggressive features of high-grade HER2 and triple-negative breast cancers	徳永 えり子	第二外科
Ann Surg Oncol. 2012 May;19(5):1499-507.	Loss of heterozygosity at BRCA1 locus is significantly associated with aggressiveness and poor prognosis in breast cancer	岡田 敏子	第二外科
Ann Surg Oncol. 2012 Apr;19(4):1145-52.	Impact of FOXA1 expression on the prognosis of patients with hormone receptor-positive breast cancer	久松 雄一	第二外科
Surg Today. 2012 Jun;42(6):559-64.	The long-term outcomes of patients with hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation: a comparison of right and left lobe grafts	武富 紹信	第二外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Transplantation. 2012 Jan 15;93(1):93-8.	Risk factors that increase mortality after living donor liver transplantation	吉住 朋晴	第二外科
Am J Transplant. 2012 Jun;12(6):1479-85.	Impact of human T cell leukemia virus type 1 in living donor liver transplantation	吉住 朋晴	第二外科
J Am Coll Surg. 2012 Jun;214(6):e53-6.	En bloc stapling division of the gastroesophageal vessels controlling portal hemodynamic status in living donor liver transplantation	池上 徹	第二外科
Am J Transplant. 2012 Jul;12(7):1886-97.	Primary graft dysfunction after living donor liver transplantation is characterized by delayed functional hyperbilirubinemia	池上 徹	第二外科
Liver Transpl.2012 Sep;18(9):1060-8.	Etiologies, risk factors , and outcomes of bacterial pneumonia after living donor liver transplantation	池上 徹	第二外科
Ann Surg Oncol. 2012 Jun;19(6):2027-34.	Predictors for microinvasion of small hepatocellular carcinoma \leq 2 cm	山下 洋市	第二外科
J Surg Oncol. 2012 Sep 15;106(4):498-503.	Beneficial effects of preoperative lipiodolization for resectable large hepatocellular carcinoma(\geq 5 cm in diameter)	山下 洋市	第二外科
Lung Cancer. 2012 Apr;76(1):56-60.	Ground-glass opacity lesions on computed tomography during postoperative surveillance for primary non-small cell lung cancer	波呂 祥	第二外科
Mol Ther. 2012 Apr;20(4):769-77.	BioKnife, a uPA activity-dependent oncolytic Sendai virus, eliminates pleural spread of malignant mesothelioma via simultaneous stimulation of uPA expression	諸富 洋介	第二外科
Lung Cancer. 2012 Jun;76(3):292-9.	Conversion from the "oncogene addiction" to "drug addiction" by Intensive inhibition of the EGFR and MET in lung cancer with activating EGFR mutation	須田 健一	第二外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Metastasis Rev. 2012 Dec;31(3-4):807-14.	Acquired resistance mechanisms to tyrosine kinase inhibitors in lung cancer with activating epidermal growth factor receptor mutation—diversity, ductility, and destiny	須田 健一	第二外科
Ann Vasc Dis. 2012;5(2):166-71.	Clinical Results of Endovascular Abdominal Aortic Aneurysm Repair in Patients with Renal Insufficiency without Hemodialysis	郡谷 篤史	第二外科
Skeletal Radiol. 2012 Nov;41(11):1411-8.	Femoral anteversion is correlated with acetabular version and coverage in Asian women with anterior and global deficient subgroups of hip dysplasia: a CT study	中島 康晴	整形外科
Br J Radiol. 2012 Mar;85(1011):214-8.	Prognostic factors associated with a subchondral insufficiency fracture of the femoral head	山本 卓明	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2012 Apr;20(4):679-85.	The 45-degree arthroscope improves visualization of the femoral attachment of the anterior cruciate ligament	岡崎 賢	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2012 Aug;20(8):1463-9.	Articular cartilage of the posterior condyle can affect rotational alignment in total knee arthroplasty	岡崎 賢	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2012 Oct;20(10):2077-81.	Relationship between the tibial anteroposterior axis and the surgical epicondylar axis in varus and valgus knees	田代 泰隆	整形外科
Clin Orthop Relat Res. 2012 Apr;470(4):1177-84.	Is the medial wall of the intercondylar notch useful for tibial rotational reference in unicompartmental knee arthroplasty?	岩本 幸英	整形外科
J Orthop Sci. 2012 May;17(3):226-32.	High prevalence of acetabular retroversion in both affected and unaffected hips after Legg-Calvé-Perthes disease	中島 康晴	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Aug 1;37(17):1448-55.	Neurological recovery is impaired by concurrent but not by asymptomatic pre-existing spinal cord compression after traumatic spinal cord injury	播広谷 勝三	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Jul 15;37(16):1363-9.	Myeloperoxidase exacerbates secondary injury by generating highly reactive oxygen species and mediating neutrophil recruitment in experimental spinal cord injury	岩本 幸英	整形外科
J Cell Physiol. 2012 Apr;227(4):1335-46.	Age-related differences in cellular and molecular profiles of inflammatory responses after spinal cord injury	岩本 幸英	整形外科
J Neuroinflammation. 2012 May 31;9:116.	Liposomal clodronate selectively eliminates microglia from primary astrocyte cultures	岩本 幸英	整形外科
Nat Commun. 2012;3:1140.	Direct isolation and RNA-seq reveal environment-dependent properties of engrafted neural stem/progenitor cells	岩本 幸英	整形外科
J Orthop Res. 2012 Dec;30(12):2031-7.	Wear resistant performance of highly cross-linked and annealed ultra-high molecular weight polyethylene against ceramic heads in total hip arthroplasty	中島 康晴	整形外科
J Orthop Sci. 2012 Jul;17(4):390-6.	Clinico-radiological factors affecting the joint space narrowing after transtrochanteric anterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head	山本 卓明	整形外科
Rheumatol Int. 2012 Sep;32(9):2867-75.	Evaluation of cartilage degradation in arthritis using T1 ρ magnetic resonance imaging mapping	岡崎 賢	整形外科
J Arthroplasty. 2012 Jun;27(6):1119-22.	Cutting error of the distal femur in total knee arthroplasty by use of a navigation system	岡崎 賢	整形外科
Clin Orthop Relat Res. 2012 Dec;470(12):3560-5.	Sagittal cutting error changes femoral anteroposterior sizing in total knee arthroplasty	岡崎 賢	整形外科
Knee. 2012 Oct;19(5):684-7.	Clinical results of open synovectomy for treatment of diffuse pigmented villonodular synovitis of the knee: case series and review of literature	松本 嘉寛	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Orthop Sci. 2012 May;17(3):319-22	Solitary epidural amyloidoma of C2-4 without osteolysis of the spine in a multiple myeloma patient	岩本 幸英	整形外科
Spine (Phila Pa 1976). 2012 Sep 1;37(19):E1203-8.	Comparison of the amounts of canal encroachment between semisitting and supine position of computed tomography-myelography for vertebral fractures of the elderly involving the posterior vertebral wall	岩本 幸英	整形外科
Clin Orthop Relat Res. 2012 Oct;470(10):2827-35.	Acetabular tilt correlates with acetabular version and coverage in hip dysplasia	中島 康晴	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg. 2012 Apr;132(4):465-70.	Clinical characteristics and surgical outcome of the symptomatic ossification of ligamentum flavum at the thoracic level with combined lumbar spinal stenosis	松本 嘉寛	整形外科
J Arthroplasty. 2012 Oct;27(9):1710-6.	The importance of bony impingement in restricting flexion after total knee arthroplasty: computer simulation model with clinical correlation	水内 秀城	整形外科
J Orthop Sci. 2012 May;17(3):239-43.	Midterm results of transtrochanteric anterior rotational osteotomy combined with shelf acetabuloplasty for osteonecrosis with acetabular dysplasia: a preliminary report	本村 悟朗	整形外科
Rheumatology (Oxford). 2012 May;51(5):789-93.	Effects of an anti-platelet drug on the prevention of steroid-induced osteonecrosis in rabbits	山本 卓明	整形外科
J Orthop Surg Res. 2012 Dec 10;7:38.	Clinical outcome for patients with dedifferentiated chondrosarcoma: a report of 9 cases at a single institute	松本 嘉寛	整形外科
Cancer Lett. 2012 Jul 1;320(1):14-22.	Impairment of p53 acetylation by EWS-Flil1 chimeric protein in Ewing family tumors	福士 純一	整形外科
Brain Tumor Pathol. 2012 Jul;29(3):148-53.	Molecular characteristics of glioblastoma with 1p/19q co-deletion	溝口 昌弘	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosurg Rev. 2013 Jan;36(1):39-43	Dorsal location of the cochlear nerve on vestibular schwannoma: preoperative evaluation, frequency, and functional outcome	中溝 玲	脳神経外科
J Neurosurg. 2012 May;116(5):1121-5.	Crocodile tears syndrome after vestibular schwannoma surgery	中溝 玲	脳神経外科
Neuro Oncol. 2012 Sep;14(9):1153-62.	Associations between microRNA expression and mesenchymal marker gene expression in glioblastoma	吉本 幸司	脳神経外科
Brain Tumor Pathol. 2013 Apr;30(2):122-7.	A fibrotic nodule arising from the cerebellopontine angle	天野 敏之	脳神経外科
Epilepsia. 2012 Nov;53(11):e184-8.	Focal cortical dysplasia type IIa underlying epileptogenesis I patients with epilepsy associated with Sturge-Weber syndrome	村上 信哉	脳神経外科
Surg Neurol Int. 2012;3:78.	Spinal endodermal cyst resembling an arachnoid cyst in appearance: Pitfalls in intraoperative diagnosis of cystic lesions	吉川 雄一郎	脳神経外科
PLoS ONE :2012 April, 7(4):e34765	Expression and subcellular localization of mammalian formin Fhod3 in the embryonic and adult heart	神尾 明君	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2012 Jun;60(6):341-4.	Pulmonary valve replacement long after repair of tetralogy of Fallot	塩川 祐一	心臓血管外科
Biol Open. 2012 Sep 15;1(9):889-96	Mammalian formin Fhod3 plays an essential role in cardiogenesis by organizing myofibrillogenesis	神尾 明君	心臓血管外科
Pediatr Surg Int. 2012 Apr;28(4):341-6.	Augmented reality navigation system for laparoscopic splenectomy in children based on preoperative CT image using optical tracking device	家入 里志	小児外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2012 Apr;54(4):552-7.	Intracranial hemorrhage associated with vitamin K-deficiency bleeding in patients with biliary atresia: focus on long-term outcomes	林田 真	小児外科
Pediatr Transplant. 2012 May;16(3):244-9.	A formula for determining the standard liver volume in children: a special reference for neonates and infants	佐伯 勇	小児外科
Pediatr Surg Int. 2012 Dec;28(12):1171-5.	A morphological study of the removed livers from patients receiving living donor liver transplantation for adult biliary atresia	松浦 俊治	小児外科
Proc Inst Mech Eng H. 2012 Oct;226(10):759-65.	Useful method to monitor the physiological effects of alcohol ingestion by combination of micro-integrated laser Doppler blood flow meter and arm-raising test	岩崎 渉	皮膚科
Allergy Asthma Immunol Res. 2012 Nov;4(6):332-40.	Most Highly Cytokinergic IgEs Have Polyreactivity to Autoantigens	柏倉 淳一	皮膚科
Nat Genet. 2012 Nov;44(11):1222-6.	Genome-wide association study identifies eight new susceptibility loci for atopic dermatitis in the Japanese population	広田 朝光	皮膚科
Chemosphere. 2013 Feb;90(5):1581-8.	Blood levels of PCDDs, PCDFs, and coplanar PCBs in Yusho mothers and their descendants: association with fetal Yusho disease	月森 清巳	皮膚科
Acta Derm Venereol. 2013 Mar 27;93(2):214-5.	Verbalizing extremes of the visual analogue scale for pruritus: a consensus statement	古江 増隆	皮膚科
PLoS One. 2012;7(7):e40322.	Restoration of dioxin-induced damage to fetal steroidogenesis and gonadotropin formation by aternal co-treatment with α -lipoic acid	古賀 貴之	皮膚科
J Clin Invest. 2012 Jul 2;122(7):2590-600.	Periostin promotes chronic allergic inflammation in response to Th2 cytokines	増岡 美穂	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Allergy. 2012 Jul;67(7):936-42.	Topical application of PPAR α (but not β/δ or γ) suppresses atopic dermatitis in NC/Nga mice	千葉 貴人	皮膚科
Ann Dermatol. 2012 May;24(2):144-50.	A randomized, open-label, multicenter trial of topical tacrolimus for the treatment of pruritis in patients with atopic dermatitis	竹内 聡	皮膚科
ISRN Dermatol. 2012;2012:218538.	The Relationship between Symptom Flare of Atopic Dermatitis and Airborne Japanese Cedar and Cypress Pollen Counts: A Self-Scoring Diary Study	西江 温子	皮膚科
J Allergy (Cairo). 2012;2012:372384.	Role of the Arylhydrocarbon Receptor (AhR) in the Pathology of Asthma and COPD	千葉 貴人	皮膚科
J Dermatol Sci. 2012 Apr;66(1):60-3.	Correlation between serum thymus and activation-regulated chemokine levels and stratum corneum barrier function in healthy individuals and patients with mild atopic dermatitis	古江 増隆	皮膚科
Epidemiology. 2012 Mar;23(2):349-50.	Sex ratio in two generations of the Yusho cohort	月森 清巳	皮膚科
PLoS One. 2012;7(1):e29387.	ORAI1 genetic polymorphisms associated with the susceptibility of atopic dermatitis in Japanese and Taiwanese populations	古江 増隆	皮膚科
PLoS One. 2011;6(11):e26987.	Variants of C-C motif chemokine 22 (CCL22) are associated with susceptibility to atopic dermatitis: case-control studies	広田 朝光	皮膚科
Melanoma Res. 2012 Feb;22(1):38-44.	The prognostic value of a reverse transcriptase-PCR assay of sentinel lymph node biopsy for patients with cutaneous melanoma: a single-center analysis in Japan	伊東 孝通	皮膚科
Acta Derm Venereol. 2012 Sep;92(5):497-501.	Visual analogue scale: evaluation of the instrument for the assessment of pruritus	古江 増隆	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Bodyw Mov Ther. 2012 Jul;16(3):392-6	Surgical considerations of the renal fascia and the retroperitoneal space around the kidney	高橋 良輔	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
J Urol. 2012 Jul;188(1):276-86.	Androgen receptor signaling regulates cell growth and vulnerability to doxorubicin in bladder cancer	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
J Urol. 2012 Jul;188(1):300-6.	Methyltransferase inhibitor adenosine dialdehyde suppresses androgen receptor expression and prostate cancer growth	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
BJU Int. 2012 Oct;110(8 Pt B):E357-61.	Causes of diminished renal function in the affected kidney after partial nephrectomy	立神 勝則	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Cancer Res. 2012 Oct 15;72(20):5261-72.	Clusterin mediates TGF- β -induced epithelial-mesenchymal transition and metastasis via Twist1 in prostate cancer cells	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
J Urol. 2012 Nov;188(5):1993-9.	Differential effects of botulinum neurotoxin a on bladder contractile responses to activation of efferent nerves, smooth muscles and afferent nerves in rats	高橋 良輔	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Sci Rep. 2012;2:979.	Endogenous cardiac troponin T modulates Ca(2+)-mediated smooth muscle contraction	梶岡 俊一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
Br J Psychiatry. 2012 Nov;201(5):376-82.	Randomised, double-blind, placebo-controlled study of olanzapine in patients with bipolar I depression	神庭 重信	精神科神経科
PLoS One. 2012;7(7):e40461.	Minocycline modulates human social decision-making: possible impact of microglia on personality-oriented social behaviors	神庭 重信	精神科神経科
World J Biol Psychiatry. 2012 Apr 30.	A placebo-controlled, double-blind study of the efficacy and safety of aripiprazole for the treatment of acute manic or mixed episodes in Asian patients with bipolar I disorder (the AMAZE study)	神庭 重信	精神科神経科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Curr Med Res Opin. 2012 May;28(5):701-13.	Safety and efficacy of olanzapine monotherapy and olanzapine with a mood stabilizer in 18-week treatment of manic/mixed episodes for Japanese patients with bipolar I disorder	神庭 重信	精神科神経科
Br J Ophthalmol. 2012 Jun;96(6):821-5.	Risk factors for anxiety and depression in patients with glaucoma	神庭 重信	精神科神経科
J Affect Disord. 2012 Feb;136(3):476-84.	Efficacy and safety of olanzapine in the treatment of Japanese patients with bipolar I disorder in a current manic or mixed episode: a randomized, double-blind, placebo- and haloperidol-controlled study	神庭 重信	精神科神経科
J Alzheimers Dis. 2012;28(3):695-708.	Selective impairment of optic flow perception in amnesic mild cognitive impairment: evidence from event-related potentials	神庭 重信	精神科神経科
Psychopharmacology (Berl). 2012 Apr;220(3):551-7.	Does minocycline, an antibiotic with inhibitory effects on microglial activation, sharpen a sense of trust in social interaction?	神庭 重信	精神科神経科
Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol. 2012 Jul;47(7):1061-75.	Does the 'hikikomori' syndrome of social withdrawal exist outside Japan? A preliminary international investigation	神庭 重信	精神科神経科
Psychiatr Genet. 2012 Dec;22(6):290-3.	Association study of susceptibility genes for late-onset Alzheimer's disease in the Japanese population	小原 知之	精神科神経科
Am J Clin Nutr. 2013 May;97(5):1076-82.	Dietary patterns and risk of dementia in an elderly Japanese population: the Hisayama Study	小澤 未央	精神科神経科
J Am Geriatr Soc. 2012 Aug;60(8):1515-20.	Self-reported dietary intake of potassium, calcium, and magnesium and risk of dementia in Japanese: the Hisayama Study	小澤 未央	精神科神経科
PLoS One. 2012;7(7):e39955.	Gamma band neural synchronization deficits for auditory steady state responses in bipolar disorder patients	小田 祐子	精神科神経科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Clin Neurophysiol. 2012 Sep;123(9):1762-8.	Altered face inversion effect and association between face N170 reduction and social dysfunction in patients with schizophrenia	角田 智哉	精神科神経科
Prog Neuropsychopharma col Biol Psychiatry. 2012 Jun 1;37(2):270-5.	Emotional face processing impairments and their association with personality traits in schizophrenia: an event-related potential study	切原 賢治	精神科神経科
Schizophr Bull. 2012 Sep;38(5):958-66.	Auditory and visual mismatch negativity in psychiatric disorders: a review	前川 敏彦	精神科神経科
Suppl Clin Neurophysiol. 2013;62:197-206.	Neurophysiological findings in patients with bipolar disorder	鬼塚 俊明	精神科神経科
Am J Pathol. 2012 Oct;181(4):1378-86.	MutT homolog-1 attenuates oxidative DNA damage and delays photoreceptor cell death in inherited retinal degeneration	村上 祐介	眼科
PLoS One. 2013;8(1):e54191.	Comparison of gene expression profile of epiretinal membranes obtained from eyes with proliferative vitreoretinopathy to that of secondary epiretinal membranes	安里 良	眼科
J Laryngol Otol. 2012 Nov;126(11):1134-7.	Prognostic value of cathepsin L and its inhibitor headpin in oral squamous cell carcinoma	中島 寅彦	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Laryngoscope. 2012 Dec;122(12):2855-7.	Follicular carcinoma of the thyroid with massive invasion into the cervical and mediastinum great veins: Our own experience and literature review	中島 寅彦	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Case Rep Oncol. 2012 May;5(2):302-7.	Surgical management of malignant tumors of the trachea: report of two cases and review of literature	安松 隆治	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
J Oncol. 2012;2012:649605.	Overexpression of the orotate phosphoribosyl-transferase gene enhances the effect of 5-Fluorouracil in head and neck squamous cell carcinoma in vitro	安松 隆治	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
耳鼻 58(1):30-38, 2012.	新規経口免疫寛容剤(スギ抗原-ガラクトマンナン複合体)を用いたスギ花粉症に対する減感作治療の検討-2010	村上 大輔	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
頭頸部癌 38(1):50-55, 2012.	唾液腺多形腺腫由来癌における病理組織学的進展度と予後との関連 - 現行T分類との比較検討-	橋本 和樹	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Dentomaxillofac Radiol. 2012 Oct;41(7):601-4.	Ultrashort echo time imaging of normal middle ear ossicles: a feasibility study	山下 孝二	放射線科
Eur J Radiol. 2012 Nov;81(11):3035-40.	Image quality of Gd-EOB-DTPA-enhanced magnetic resonance imaging of the liver using dual-source parallel radiofrequency transmission technology: Comparison with the post-processing correction method for B1 inhomogeneity-induced signal loss	高山 幸久	放射線科
Magn Reson Med Sci. 2012;11(1):35-41.	Ytterbium-based PARACEST agent: feasibility of CEST imaging on a clinical MR scanner	高山 幸久	放射線科
Neuroradiology. 2012 Aug;54(8):809-13.	Arterial spin labeling of hemangioblastoma: differentiation from metastatic brain tumors based on quantitative blood flow measurement	山下 孝二	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2012 May 1;83(1):e67-73.	Acute cardiac impairment associated with concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer: magnetic resonance evaluation	畠中 正光	放射線科
Eur J Radiol. 2012 Nov;81(11):3072-8.	Hypovascular hepatic nodule showing hypointensity in the hepatobiliary phase of gadoxetic acid-enhanced MRI in patients with chronic liver disease: prediction of malignant transformation	高山 幸久	放射線科
Eur J Radiol. 2012 Aug;81(8):1695-701.	Contrast-enhanced MDCT gastrography for detection of early gastric cancer: Initial assessment of "wall-carving image", a novel volume rendering technique	古森 正宏	放射線科
Radiology. 2012 Dec;265(3):902-9.	Incremental diagnostic value of SPECT/CT with ¹³¹ I scintigraphy after radioiodine therapy in patients with well-differentiated thyroid carcinoma	丸岡 保博	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res. 2012 Sep;32(9):4041-4.	Stereotactic body radiation therapy for stage I non-small cell lung cancer patients with chronic respiratory insufficiency requiring domiciliary oxygen therapy	吉武 忠正	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2012 Nov 1;84(3):768-73.	Radiation-induced rib fractures after hypofractionated stereotactic body radiation therapy: risk factors and dose-volume relationship	浅井 佳央里	放射線科
World J Radiol. 2012 Jun 28;4(6):278-82.	CT-guided radiofrequency ablation of osteoid osteoma in the long bones of the lower extremity	浅山 良樹	放射線科
J Magn Reson Imaging. 2012 Sep;36(3):664-71.	MR prediction of liver fibrosis using a liver-specific contrast agent: Superparamagnetic iron oxide versus Gd-EOB-DTPA	西江 昭弘	放射線科
Magn Reson Imaging. 2012 Jul;30(6):854-9.	Magnetic resonance differentiation between T2 and T1 gallbladder carcinoma: significance of subserosal enhancement on the delayed phase dynamic study	吉満 研吾	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2012 Apr 1;82(5):1973-80.	Esophageal stenosis associated with tumor regression in radiotherapy for esophageal cancer: frequency and prediction	渥美 和重	放射線科
Eur J Radiol. 2012 Jun;81(6):1100-4	Quantitative analysis of liver function using superparamagnetic iron oxide- and Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI: comparison with Technetium-99m galactosyl serum albumin scintigraphy	西江 昭弘	放射線科
Eur J Radiol. 2012 Jun;81(6):1116-21.	Enhancement pattern analysis of hypervascular hepatocellular carcinoma on dynamic MR imaging with histopathological correlation: validity of portal phase imaging for predicting tumor grade	岡本 大佑	放射線科
Endocrine. 2012 Feb;41(1):96-102.	A hypertriglyceridemic state increases high-sensitivity C-reactive protein of men with normal glucose tolerance	岡田 享子	総合診療科
Hepatol Res. 2012 Jan;42(1):33-41.	Pegylated interferon α -2b plus ribavirin for Japanese chronic hepatitis C patients with normal alanine aminotransferase	貝沼 茂三郎	総合診療科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol Hepatol. 2012 Jul;27(7):1233-40.	An evaluation of the adverse effect of premature discontinuation of pegylated interferon alpha-2b and ribavirin treatment for chronic hepatitis C virus infection: Results from Kyushu University Liver Disease Study (KULDS)	小川 栄一	総合診療科
J Atheroscler Thromb. 2012;19(5):462-70.	The utility of visceral fat level by bioelectrical impedance analysis in the screening of metabolic syndrome: The results of the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS)	海野 麻美	総合診療科
Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2012 Sep;31(9):2117-24.	Serum pepsinogen and Helicobacter pylori infection—a Japanese population study	豊田 一弘	総合診療科
J Infect Chemother. 2012 Oct;18(5):689-97.	An inadequate dosage of ribavirin is related to virological relapse by chronic hepatitis C patients treated with pegylated interferon alpha-2b and ribavirin	小川 栄一	総合診療科
J Hepatol. 2012 Sep;57(3):534-40.	Insulin resistance undermines the advantages of IL28B polymorphism in the pegylated	小川 栄一	総合診療科
J Hepatol. 2012 Dec;57(6):1186-92.	Raloxifene hydrochloride is an adjuvant antiviral treatment of postmenopausal women with chronic hepatitis C: A randomized trial	古庄 憲浩	総合診療科
Int J Cardiol. 2013 Sep 1;167(5):2066-72.	Plasma glycated albumin level and atherosclerosis: Results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS)	古庄 憲浩	総合診療科
Nucleic Acids Res. 2012 Oct;40(19):9717-37.	p32/gC1qR is indispensable for fetal development and mitochondrial translation: importance of its RNA-binding ability	八木 美佳子	検査部
DNA Repair (Amst). 2012 Jan 2;11(1):82-91.	mtSSB may sequester UNG1 at mitochondrial ssDNA and delay uracil processing until the dsDNA conformation is restored	康 東天	検査部
Biochim Biophys Acta. 2012 Mar;1818(3):658-65.	Arg 901 in the AE1 C-terminal tail is involved in conformational change but not in substrate binding	高崎 伸也	検査部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Urol. 2012 Feb;187(2):707-14.	Antioxidant therapy alleviates oxidative stress by androgen deprivation and prevents conversion from androgen dependent to castration resistant prostate cancer	内海 健	検査部
J Neurosci Res. 2012 Jun;90(6):1200-8.	Effect of mitochondrial transcription factor a overexpression on motor neurons in amyotrophic lateral sclerosis model mice	康 東天	検査部
Biochem J. 2012 Apr 15;443(2):573-84.	Ribonucleoprotein Y-box-binding protein-1 regulates mitochondrial oxidative phosphorylation (OXPHOS) protein expression after serum stimulation through binding to OXPHOS mRNA	康 東天	検査部
Mitochondrion. 2012 May;12(3):391-8.	Localization of mRNAs encoding human mitochondrial oxidative phosphorylation proteins	康 東天	検査部
J Biol Chem. 2012 Jan 27;287(5):3265-72.	Mitophagy plays an essential role in reducing mitochondrial production of reactive oxygen species and mutation of mitochondrial DNA by maintaining mitochondrial quantity and quality in yeast	康 東天	検査部
Prostate. 2012 May 15;72(7):741-51.	Downregulation of phosphodiesterase 4B (PDE4B) activates protein kinase A and contributes to the progression of prostate cancer	康 東天	検査部
Biochim Biophys Acta. 2012 May;1820(5):565-70.	The role of TFAM-associated proteins in mitochondrial RNA metabolism	康 東天	検査部
Anti-Aging Medicine. 2012, (9) 201-206.	Mitochondrial Genomic Disintegrity and Age-Related Diseases	康 東天	検査部
Int J Cell Biol. 2012;2012:354914.	The physiological role of mitophagy: new insights into phosphorylation events	康 東天	検査部
OJAnes 2013; Mar ch3:84-89.	Endovascular abdominal aortic aneurysm repair under general anesthesia does not decrease perioperative myocardial ischemic events compared with open repair	山浦 健	手術部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
AJR Am J Roentgenol. 2012 Sep;199(3):644-8.	High-resolution STIR for 3-T MRI of the posterior fossa: visualization of the lower cranial nerves and arteriovenous structures related to neurovascular compression	樋渡 昭雄	放射線部
日本放射線技術学 会雑誌: 2012 Jun: 68(9): 1221-1230	カテーテルアブレーションとPercutaneous Coronary Intervention (PCI)における被ばく低減対策の有効性の検証	梅津 芳幸	放射線部
Medical Physics: 2012 Jul: 39(8): 5127-5135	Chromaticity and correlated color temperature of the white point in medical liquid-crystal display	赤嶺 寛地	放射線部
Journal of Biomedical Science and Engineering: 2013 Mar: 6(3A): 327-336	Automated measurement of three-dimensional cerebral cortical thickness in Alzheimer's patients using localized gradient vector trajectory in fuzzy membership maps	徳永 千晶	放射線部
Clin Cancer Res. 2013 Jan 15;19(2):450-61.	Prognostic significance of AKT/mTOR and MAPK pathways and antitumor effect of mTOR inhibitor in NF1-related and sporadic malignant peripheral nerve sheath tumors	遠藤 誠	病理部
Histopathology. 2012 May;60(6B):E131- 42.	HER-2/neu gene amplification in carcinoma ex pleomorphic adenoma in relation to progression and prognosis: a chromogenic in-situ hybridization study	橋本 和樹	病理部
Hum Pathol. 2013 Feb;44(2):237-43.	Epithelial and cartilaginous differentiation in clear cell chondrosarcoma	松浦 傑	病理部
Hum Pathol. 2012 Jun;43(6):808-17.	E-cadherin nuclear staining is useful for the diagnosis of ovarian adult granulosa cell tumor	大石 善丈	病理部
Hum Pathol. 2012 Jun;43(6):850-7.	Inhibin- α and synaptophysin immunoreactivity in synovial sarcoma with granular cell features	薛 宇孝	病理部
Int J Cancer. 2013 Jan 1;132(1):109-15.	Phosphorylation of signal transducer and activator of transcription 3 in soft tissue leiomyosarcoma is associated with a better prognosis	薛 宇孝	病理部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Blood. 2012 Jul 5;120(1):223-31.	Graft-versus-host disease disrupts intestinal microbial ecology by inhibiting Paneth cell production of α -defensins	江里口 芳裕	救命救急センター
Surg Today. 2012 Jul;42(7):625-32.	Quality of life after laparoscopy-assisted pylorus-preserving gastrectomy: an evaluation using a questionnaire mailed to the patients	富川 盛雅	先端医工学診療部
Surg Endosc. 2012 Dec;26(12):3573-9.	Rigid and flexible endoscopic rendezvous in spatium peritonealis may be an effective tactic for laparoscopic megasplenectomy: significant implications for pure natural orifice transluminal endoscopic surgery	富川 盛雅	先端医工学診療部
Hepatol Res. 2012 Apr;42(4):385-93.	Impact of balloon-occluded retrograde transvenous obliteration on management of isolated fundal gastric variceal bleeding	赤星 朋比古	先端医工学診療部
Resuscitation. 2012 Jul;83(7):848-54.	Early findings on brain computed tomography and the prognosis of post-cardiac arrest syndrome: application of the score for stroke patients	杉森 宏	先端医工学診療部
Int J Nanomedicine. 2012;7:4353-62.	Liver cell specific targeting by the preS1 domain of hepatitis B virus surface antigen displayed on protein nanocages	村田 正治	先端医工学診療部
Int J Comput Assist Radiol Surg. 2013 May;8(3):395-405.	Warning navigation system using real-time safe region monitoring for otologic surgery	曹 柄炫	先端医工学診療部
Japanese Society for Medical and Biological Engineering: 2012: Vol. 50:p. 237	An Assessment of Improved Surface Template-assisted Marker Positioning (STAMP) Method for High Registration Accuracy in Imaged-Guided Otologic Surgery	曹 柄炫	先端医工学診療部
Arch Womens Ment Health. 2012 Oct;15(5):343-52.	A Japanese version of Mother- to Infant Bonding Scale: factor structure, longitudinal changes and links with maternal mood during the early postnatal period in Japanese mothers	吉田 敬子	子どものこころの診療部
Jpn J Clin Oncol. 2013 Jun;43(6):629-35.	Phase II trial of erlotinib for Japanese patients with previously treated non-small-cell lung cancer harboring EGFR mutations: results of Lung Oncology Group in Kyushu (LOGiK0803)	岸本 淳司	ARO次世代医療センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Neurosurg. 2012 Nov;117(5):955-61.	Short circuit in deep brain stimulation	岸本 淳司	ARO次世代医 療センター
Blood. 2012 Nov 8;120(19):4058-67.	Engulfment of hematopoietic stem cells caused by down-regulation of CD47 is critical in the pathogenesis of hemophagocytic lymphohistiocytosis	岸本 淳司	ARO次世代医 療センター
Cancer Chemother Pharmacol. 2013 Jan;71(1):29-34.	Phase I study of bevacizumab combined with irinotecan and S-1 as second-line chemotherapy in patients with advanced colorectal cancer	岸本 淳司	ARO次世代医 療センター
Eur J Cancer. 2013 Mar;49(4):852-9.	Impact of dendritic cell vaccines pulsed with Wilms' tumour-1 peptide antigen on the survival of patients with advanced non-small cell lung cancers	岸本 淳司	ARO次世代医 療センター
Int J Biochem Cell Biol. 2013 Mar;45(3):692-5.	Hemogenic endothelium: a vessel for blood production	杉山 大介	ARO次世代医 療センター
Mech Dev. 2013 Feb;130(2-3):195- 206.	TGF-beta-1 up-regulates extra-cellular matrix production in mouse hepatoblasts	杉山 大介	ARO次世代医 療センター
PLoS One. 2012;7(4):e35763.	Intra-aortic clusters undergo endothelial to hematopoietic phenotypic transition during early embryogenesis	水落 ちよ	ARO次世代医 療センター
Mol Ther. 2013 Mar;21(3):707-14.	DVC1-0101 to treat peripheral arterial disease: a Phase I/IIa open-label dose-escalation clinical trial	内山 麻希子	ARO次世代医 療センター
Cancer Res. 2012 May 15;72(10):2609-21.	Coxsackievirus B3 Is an Oncolytic Virus with Immunostimulatory Properties that Is Active Against Lung Adenocarcinoma	井上 博之	先端分子・細 胞治療科
Blood. 2012 Oct 25;120(17):3444-54.	Absence of LTB4/BLT1 axis facilitates generation of mouse GM-CSF-induced long-lasting antitumor immunological memory by enhancing innate and adaptive immune systems	井上 博之	先端分子・細 胞治療科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Biomed Biotechnol. 2012;2012:903435.	Roles of p53 in Various Biological Aspects of Hematopoietic Stem Cells	丸本 朋稔	先端分子・細胞治療科
Free Radic Biol Med. 2012 Apr 15;52(8):1285-93.	Activation of p38 MAPK by oxidative stress underlying epirubicin-induced vascular endothelial cell injury	大石 了三	薬剤部
Mol Pain. 2012 Apr 17;8:26.	Inhibition of Ca ²⁺ /Calmodulin-dependent protein kinase II reverses oxaliplatin-induced mechanical allodynia in rats	大石 了三	薬剤部
Support Care Cancer. 2012 May;20(5):951-5.	Change of formulation decreases venous irritation in breast cancer patients receiving epirubicin	大石 了三	薬剤部
Free Radic Biol Med. 2012 May 1;52(9):1865-73.	Mitochondrial superoxide production contributes to vancomycin-induced renal tubular cell apoptosis	大石 了三	薬剤部
Eur J Cancer. 2012 Jun;48(9):1407-13.	Goshajinkigan reduces oxaliplatin-induced peripheral neuropathy without affecting anti-tumour efficacy in rodents	大石 了三	薬剤部
Support Care Cancer. 2012 Jul;20(7):1549-53.	Decrease in the vinorelbine-induced venous irritation by pharmaceutical intervention	大石 了三	薬剤部
Int J Antimicrob Agents. 2012 Oct;40(4):344-8.	Simplified dosing regimens of teicoplanin for patient groups stratified by renal function and weight using Monte Carlo simulation	大石 了三	薬剤部
Chemotherapy. 2012;58(6):419-25.	Risk factors for predicting severe neutropenia induced by amrubicin in patients with advanced lung cancer	大石 了三	薬剤部
Biomed Pharmacother. 2013 Feb;67(1):39-42.	Calcium channel blockers reduce oxaliplatin-induced acute neuropathy: A retrospective study of 69 male patients receiving modified FOLFOX6 therapy	大石 了三	薬剤部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Health Syst Pharm. 2013 Feb 15;70(4):343-9.	Antiemetic effectiveness and safety of aprepitant in patients with hematologic malignancy receiving multiday chemotherapy	大石 了三	薬剤部
Biosci Rep. 2012 Dec 7	Dihydroorotate dehydrogenase is physically associated with the respiratory complex and its loss leads to mitochondrial dysfunction	方 静嫻	小児歯科
PLoS One. 2012;7(12):e51777	Cryopreserved dental pulp tissues of exfoliated deciduous teeth is a feasible stem cell resource for regenerative medicine	馬 蘭	小児歯科
PLoS One. 2012;7(10):e47930	Characterization and identification of subpopulations of mononuclear preosteoclasts induced by TNF- α in combination with TGF- β in rats	松原 麗	小児歯科
Biosci Rep. 2012 Dec 1;32(6):631-9	Protein instability and functional defect by mutations of dihydroorotate dehydrogenase with Miller syndrome patients	方 静嫻	小児歯科
Histochem Cell Biol. 2013 Feb;139(2):355-70	Multiple functional involvement of Thymosin beta-4 in tooth germ development	大隈 由紀子	小児歯科
J Clin Periodontol: 2012 Jun; 39(6): 556-564.	Expression and effects of glial cell line-derived neurotrophic factor on periodontal ligament cells	山本 直秀	歯内治療科
J Cell Biochem: 2012 Oct; 113(10): 3093-3103.	Alternation of extracellular matrix remodeling and apoptosis by activation of the aryl hydrocarbon receptor pathway in human periodontal ligament cells	友清 淳	歯内治療科
日本レーザー歯学会誌: 2012 Aug; 23(2): 78-85.	損耗したEr:YAGレーザー用石英ファイバーチップの再利用の試み	佐藤 浩美	歯内治療科
日本歯内療法学会雑誌: 2012 Sep; 33(3): 175-179.	Er:YAGレーザーを用いた根管洗浄作用に関する研究 -模擬根管における側枝内清掃効果-	松本 妃可	歯内治療科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Microbiol Immunol:2012 Oct;56(10):680-91.	Serotype-dependent expression patterns of stabilized lipopolysaccharide aggregates in <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> strains	藤瀬 修	歯周病科
J Periodontal Res:2013 Jun;48(3):286-92.	<i>Porphyromonas gingivalis</i> displays a competitive advantage over <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> in co-cultured biofilm	三浦 真由美	歯周病科
Acta Derm Venereol. 2013 Jan;93(1):114-5.	Concurrence of autoantibodies to both laminin γ 1 and γ 2 subunits in a patient with rejection response to transplanted kidney	見立 英史	顎口腔外科
J Oral Pathol Med. 2012 Apr;41(4):354-60.	Differential activation of proapoptotic molecules between mouse and rat models of distal motor trigeminal denervation	原田 志織	顎口腔外科
Acad Radiol. 2012 Jun;19(6):708-17.	Clinical significance of combined assessment of the maximum standardized uptake value of F-18 FDG PET with nodal size in the diagnosis of cervical lymph node metastasis of oral squamous cell carcinoma	松原 良太	顎口腔外科
Clin Exp Immunol. 2012 Jul;169(1):17-26.	Cytokine/chemokine profiles contribute to understanding the pathogenesis and diagnosis of primary Sjögren's syndrome	森山 雅文	顎口腔外科
Clin Exp Immunol. 2012 Aug;169(2):89-99.	Selective localization of Th subsets in labial salivary glands from primary Sjögren's syndrome patients	前原 隆	顎口腔外科
J Cancer Res Clin Oncol. 2012 Aug;138(8):1299-310.	Association of cytokeratin 17 expression with differentiation in oral squamous cell carcinoma	北村 亮二	顎口腔外科
Cancer Lett. 2012 Sep 1;322(1):86-91.	In vitro induction of specific CD8(+) T lymphocytes by tumor-associated antigenic peptides in patients with oral squamous cell carcinoma	豊嶋 健史	顎口腔外科
Oral Dis. 2012 Oct;18(7):667-72.	Close association between oral <i>Candida</i> species and oral mucosal disorders in patients with xerostomia	篠崎 昌一	顎口腔外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Rheum Dis. 2012 Dec;71(12):2011-19.	Interleukin-21 contributes to germinal centre formation and immunoglobulin G4 production in Mikulicz's disease	前原 隆	顎口腔外科
日本口腔外科学会 雑誌 58(12), 718- 722	口腔扁平苔癬および掌蹠膿疱症の発症と金属アレルギーとの関連についての検討	森山 雅文	顎口腔外科
Clin Oral Investig. 2012 Dec 16.	Clinical characteristics of Mikulicz's disease as an IgG4-related disease	森山 雅文	顎口腔外科
Bone Marrow Transplant. 2013 Jan;48(1):115-23.	Possible involvement of cytokines, chemokines and chemokine receptors in the initiation and progression of chronic GVHD	林田 淳之将	顎口腔外科
Int J Clin Oncol. 2013 Feb;18(1):154- 63.	Immunohistochemical location of the p75 neurotrophin receptor (p75NTR) in oral leukoplakia and oral squamous cell carcinoma	清末 崇裕	顎口腔外科
Exp Brain Res. 2013 Jun;227(2):185-97	Localization of the primary taste cortex by contrasting passive and attentive conditions	中村 優子	口腔画像診断科
Int J Dent. 2012;2012:480659.	The principal of dynamic contrast enhanced MRI, the method of pharmacokinetic analysis, and its application in the head and neck region	筑井 徹	口腔画像診断科
J Magn Reson Imaging. 2012 Sep;36(3):589-97.	Pharmacokinetic analysis based on dynamic contrast-enhanced MRI for evaluating tumor response to preoperative therapy for oral cancer	筑井 徹	口腔画像診断科
Neuroreport. 2012 Apr 18;23(6):400-4.	The temporal change in the cortical activations due to salty and sweet tastes in humans: fMRI and time-intensity sensory evaluation	中村 優子	口腔画像診断科
日本補綴歯科学会 誌 平成24年10月 第4巻4号:427-433	歯科外来受診患者における睡眠時無呼吸に関する調査	王丸 寛美	口腔総合診療科

合計 330 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
-----	-----	-------	------

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 久保千春
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 増田智先 総務課長 原 博文 医療管理課長 小西英樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 紹介状、退院した患者に係る入院期間中の 診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 放射線部 薬剤部 総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成 20 年 2 月 1 日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及び P A C S (医用画像) にて電子媒体保存している。平成 20 年 2 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日までの一部診療に関する各科の記録書類 (紹介状、入院診療計画書等) については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成 25 年 1 月 1 日からは全て電子媒体保存している。 平成 20 年 1 月以前の外来紙カルテは、診療録管理室にて一括中央管理化にて保管している。 ・入院紙カルテは、平成 17 年 4 月 1 日退院患者より診療録管理室にて一括中央管理にて保管。それ以前のカルテは、各診療科にて保管管理している。 ・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。
エックス線写真			
処方せん			
病院日誌			
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	患者サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価 の実績	患者サービス課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医療連携センター	
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課 薬剤部	
第規 一則 号第 一掲 条の る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 況 第 九 条の 二十 三第 一 項	医療に係る安全管理のため の指針の整備状況	医療管理課	
	医療に係る安全管理のため の委員会の開催状況	医療管理課	
	医療に係る安全管理のため の職員研修の実施状況	医療管理課	
	医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全の 確保を目的とした改善のため の方策の状況	医療管理課	
	専任の医療に係る安全管 理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行 う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安 全管理に係る相談に適切に 応じる体制の確保状況	総務課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 延原 寿男
閲覧担当者氏名	総務課長 原 博文
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.4%	算定期間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	24,568人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	18,273人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,496人	
	D: 初診の患者の数	35,510人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>人は誰でも間違いを起こす可能性がある。一方、九州大学病院は特定機能病院として「患者に満足され、医療人も満足できる」医療を安全に提供するとともに、その医療の透明性を確保することを、社会から求められている。そこで本院はこの基本方針に従って、間違いを誘発しない環境や、医療上の事故等を未然に防ぐことができるシステム、ならびに医療上の事故等が発生した場合に適切に対応できる体制の構築に取り組む。</p> <p>(1) 医療安全管理委員会は病院長のもと関連部署・職員と連携し、医療の安全管理に取り組む。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会は「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知する。</p> <p>(3) 職員は医療安全管理に関する教育や研修に年度内 2 回以上参加する。</p> <p>(4) 医療上の事故等が発生した場合、職員は医療上の最善の措置をすみやかに講じるとともに、患者・家族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実かつすみやかに説明する。</p> <p>(5) 職員はインシデント・医療上の事故等が発生した場合には、各々の規程に従って報告する。</p> <p>(6) 医療安全管理委員会は医療の安全管理対策・改善策等の情報を職員にフィードバックし、職員全体での共有を図る。</p> <p>(7) 本院は医療の安全管理に関する基本方針を病院内掲示板等にて公開する。</p> <p>(8) 患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。</p> <p>(2) 医療安全管理マニュアルに関すること。</p> <p>(3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。</p> <p>(4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。</p> <p>(6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。</p> <p>(7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。</p> <p>(8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。</p> <p>(9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。</p> <p>(10) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 1 回
<p>・ 研修の主な内容：別紙のとおり</p>	

平成24年度 医療安全管理研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (代の数)	受講者数					(内 訳)					研修会名	テーマ	講師
					医師	看護師	技師	事務職員	その他 (学生)	医師	看護師	技師	事務職員	その他 (学生)			
1	平成24年4月13日	90分	歯科プレハブ	66	65	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	①安城厚生病院 医療安全部長 空藤 哲嗣(ビデオ) ②CDCが持つ7つに基づく医療現場における感染対策の実践(ビデオ)
2	平成24年4月26日	80分	臨床大講堂	221	37	1	10	166	7	5							医療安全管理・院内感染対策 合同研修会 (歯科出前研修)
3	平成24年4月27日	60分		144	149	25	7	103	8	5							医療安全管理研修会
4	平成24年5月11日	80分		448	470	132	26	215	52	22							①医療安全管理研修会 秋保 英代子(ビデオ) ②コロナ感染症セミナー 感染対策担当 副館長 権藤 多美
5	平成24年5月23日	60分	百年講堂大ホール	501	529	112	15	44	63	28							①(安全) ポケットマニュアルの説明 ②(感染) 院内感染対策上必要な届出とCT活動の紹介
6	平成24年5月28日	60分		369	381	82	13	40	45	12							①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) 血液由来ウイルス感染 ③(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
7	平成24年6月26日	60分	百年講堂大ホール	579	598	124	21	34	328	72	19						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) 血液由来ウイルス感染 ③(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
8	平成24年7月19日	60分		72	72	11	10	10	34	7	0						①MEセンター 徳本 祐洋 臨床工学技士 ②薬剤師 平川 良宏 薬剤主任
9	平成24年7月20日	60分	臨床大講堂	50	51	6	11	6	22	5	1						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
10	平成24年9月7日	60分	臨床大講堂	103	105	38	3	5	30	29	2						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
11	平成24年9月8日	60分		129	133	21	0	6	43	59	4						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
12	平成24年9月23日	70分		67	68	15	1	7	27	17	1						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
13	平成24年9月24日	70分		59	60	17	0	7	18	17	1						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
14	平成24年9月26日	60分	臨床大講堂	149	151	8	3	4	120	14	2						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
15	平成24年10月22日	80分	臨床大講堂	446	481	77	17	58	230	64	15						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
16	平成24年10月25日	60分		377	385	60	11	41	202	63	8						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
17	平成24年11月6日	60分	百年講堂大ホール	215	219	56	1	23	115	20	4						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
18	平成24年12月20日	80分		69	70	20	4	7	30	8	1						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
19	平成24年12月21日	60分	臨床大講堂	125	126	43	1	10	56	15	1						①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
20	平成24年12月21日	60分															①(安全) 平成23年度 院内で発生した事例について ②(感染) エピネット(特製)・切開報告書の年度統計報告
21	平成24年12月28日	60分	手術室会議室	76	80	29	0	1	45	4	1						①(感染) インフルエンザの感染防止対策 ②(安全) 医療安全とヒューマンファクターズ～新しい医療安全 教育へのアプローチ～ 外

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (総人数)	受講者数 (院内)	(内訳)					研修会名	テーマ	講師	
						医師 歯科医師	薬剤師	技師 検査技師	事務職員	本学職員 助産師				その他 (学生等)
22	平成25年1月4日	80分	手術部会議室	57	59	31	0	1	21	4	2	①(感染)院内におけるインフルエンザ対策 ②(安全)上半期の事例について	①ピデオ ②医療安全管理部副部長 秋好 美代子(アロナー)	
23	平成25年1月15日	80分	臨床大講堂	96	102	11	5	9	63	8	6	①北條7階2号棟 先野 可久子 薬剤師 ②集中治療部 救命救急センター(救命ICU) 井上 辰幸 集中ケア課 ③看護部 ④BIPAPマスクによる換気対策	①北條7階2号棟 先野 可久子 薬剤師 ②集中治療部 救命救急センター(救命ICU) 井上 辰幸 集中ケア課 ③看護部	
24	平成25年1月21日	30分	北3階 カンファレンスルーム	20	20	11	0	0	7	2	0	医療安全管理課(心臓血管外科)出前研 究会	ピデオ	
25	平成25年1月23日	80分	臨床大講堂	569	594	167	22	55	269	56	29	①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全)医療機器(吸引機・シリンジポンプ)の取り扱いと 注意点について ③(安全)医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MEセンター 平井 建博 臨床工学技士 ③薬剤師 西分 千代 薬剤師	
26	平成25年1月24日	80分		457	468	140	20	39	207	51	9	①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全)医療機器(吸引機・シリンジポンプ)の取り扱いと 注意点について ③(安全)医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MEセンター 平井 建博 臨床工学技士 ③薬剤師 西分 千代 薬剤師	
27	平成25年1月31日	30分	臨床大講堂	242	245	110	7	29	79	17	3	医療安全管理課(薬)リスクマネージャー研 究会	病態制御内科 齋藤 古薫 和浩	
28	平成25年2月1日	80分	臨床大講堂	125	128	29	6	39	38	13	3	医療安全管理課(生)学術的チーム医療の生 活とその安全性(立派な事業)	看護中央病院GRM 米井 昭智 医師	
29	平成25年2月8日	45分	臨床大講堂	222	231	74	2	13	108	30	9	①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全)医療機器(吸引機・シリンジポンプ)の取り扱いと 注意点について ③(安全)医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	ピデオ ①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MEセンター 平井 建博 臨床工学技士 ③薬剤師 西分 千代 薬剤師	
30	平成25年2月8日	45分												
31	平成25年2月8日	45分												
32	平成25年2月8日	45分												
33	平成25年2月8日	45分												
34	平成25年2月8日	45分												
35	平成25年2月12日	45分	臨床研究棟 放射線科医師高員室	6	6	5	0	1	0	0	0	①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全)医療機器(吸引機・シリンジポンプ)の取り扱いと 注意点について ③(安全)医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	ピデオ ①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MEセンター 平井 建博 臨床工学技士 ③薬剤師 西分 千代 薬剤師	
36	平成25年2月5日	60分	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	①(感染)小児領域における「血液培養2セット採取の有用性」 と「重症肺炎の予防策」の必要性」を述べた。高野は「成 熟児の予防策」も述べた。 ②(安全)医療安全とヒューマンファクターズ〜新しい医療安全 教育へのアプローチ〜 外	①グローバル感染症センター 保科 隆之 助教 ②ピデオ	
37	平成25年2月18日	80分	総合診療科	6	6	4	0	1	1	0	0	①(感染)医療機器(吸引機・シリンジポンプ)の取り扱いと 注意点について ②(安全)医療安全とヒューマンファクターズ〜新しい医療安全 教育へのアプローチ〜 外	ピデオ	
38	平成25年2月21日	60分	臨床大講堂	69	71	31	1	3	24	10	2	①(感染)肺炎球菌予防策〜医療現場における感染対策の 実践〜 ②(安全)医療安全とヒューマンファクターズ〜新しい医療安全 教育へのアプローチ〜 外	ピデオ	
39	平成25年2月22日	80分		46	48	23	0	8	13	4	0	0	①(感染)肺炎球菌予防策〜医療現場における感染対策の 実践〜 ②(安全)医療安全とヒューマンファクターズ〜新しい医療安全 教育へのアプローチ〜 外	ピデオ
40	平成25年2月25日	80分	臨床大講堂	98	91	21	3	1	57	6	3	個人情報保護セミナー	①副部長 中村 誠司(情報公開・個人情報保護委員会委員) ②医学研究部 医療経営・管理学習講座 池澤 弘彦 講師 橋子	①副部長 中村 誠司(情報公開・個人情報保護委員会委員) ②医学研究部 医療経営・管理学習講座 池澤 弘彦 講師 橋子
41	平成25年2月27日	50分	臨床大講堂	119	121	30	2	23	54	10	2	医療安全管理課報告会	①全身管理課 二本 芽子(アロナー)マネージャー ②看護部内科・ICU 日笠 舞(アロナー)マネージャー ③MEセンター 三島 博之(アロナー)マネージャー ④リハビリテーション部 草野 隆一(アロナー)マネージャー ⑤看護11階 藤井 雅也(アロナー)マネージャー ⑥北條4・5階 井ノ口 菜利(アロナー)マネージャー	①全身管理課 二本 芽子(アロナー)マネージャー ②看護部内科・ICU 日笠 舞(アロナー)マネージャー ③MEセンター 三島 博之(アロナー)マネージャー ④リハビリテーション部 草野 隆一(アロナー)マネージャー ⑤看護11階 藤井 雅也(アロナー)マネージャー ⑥北條4・5階 井ノ口 菜利(アロナー)マネージャー
合計				6,392	6,588	1,663	207	565	3,176	781	196	一人あたり	2.29	回

<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○検証会の下部組織として「M&Mカンファレンス (Morbidty and Mortality Conference) を設置 ○緊急消化管内視鏡検査の連絡方法を確立 ○手術安全チェックリストの改訂 ○ナースコールシステムの緊急コール音を全病棟で統一した ○インシデント情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> 日々報告のあるインシデント事例より、特に警鐘を促すべき事例について、毎月1回ニュース (ポスター) を作成し、院内職員へ注意喚起している。
<p>⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況</p>	<p>有 (2 名)</p>
<p>⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<p>有 (5 名)</p>
<p>⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況</p>	<p>有</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (24) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認並びに指導に関すること。 (3) 患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況についての確認並びに指導に関すること。 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認並びに指導に関すること。 (5) 医療安全に係る連絡調整に関すること。 (6) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (7) 医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること。 (8) 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書の作成、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録に関すること。 (9) 医療安全管理マニュアルの編集及び見直しに関すること。 (10) その他医療安全対策の推進に関すること。 	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>有</p>

院内感染対策のための体制の確保に係る措置 (○)

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 院内感染発生時の対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策のための措置に関する審議 職員の教育・研修に関する審議 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案・実施、職員への周知 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：別紙のとおり 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： NICUでのMRSAアウトブレイクへの介入 2010年頃より特定部署でのMRSA検出数の増加を認め、その都度ICTによる介入（遺伝子学的調査、接触感染予防策の再教育・指導）を実施した。2012年3月より再び増加傾向を認め、再度ICT介入（現状調査を実施し、問題点の抽出、ベストプラクティスを含めた再教育、コホーティングやベッド周囲のゾーニングの徹底、ICTによる対策実施状況の監視、手洗い環境の改修）を実施した。一旦は鎮静化したように見えたが、10月頃より再度検出数の増加を認め、更なる接触感染予防策を強化した介入（現行の手指衛生遵守、PPEの適正使用、コホーティングの徹底に加え、隔離室使用によるベッド間隔の確保）を実施した。疫学解析においては、3パターンの種類を認め、一部小範囲での伝播を確認した。 	

平成24年度 院内感染対策研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

開催日	開催時間 (予定)	参加人数 (予定)	受講者数	医師 数	（ 内 訳 ）			研修会名	テーマ等	講師等
					研修員	研修員 数	研修員 数			
1 平成24年4月13日	90分	66	68	65	0	0	1	平成24年度研修会(ピデオ研修)	①日常診療における医療安全の確保 ②感染性病原体の伝播予防の基本	①感染性病原体 医療安全部 安藤 初南 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
2 平成24年5月11日	90分	467	1,318	328	54	107	160	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
3 平成24年5月23日	60分	529	1,318	328	54	107	160	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
4 平成24年5月28日	60分	380	579	124	21	34	72	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
5 平成24年6月18日	60分	152	146	46	10	7	78	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
6 平成24年7月30日	60分	104	231	56	3	11	73	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
7 平成24年8月7日	60分	164	156	36	15	24	77	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
8 平成24年8月16日	60分	71	70	12	2	11	40	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
9 平成24年8月22日	60分	98	97	9	2	1	81	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
10 平成24年9月6日	60分	75	74	20	6	7	36	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
11 平成24年9月10日	60分	95	88	62	5	2	15	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
12 平成24年9月13日	60分	155	120	90	0	17	9	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
13 平成24年9月25日	30分	481	823	137	28	59	432	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
14 平成24年9月27日	120分	385	127	77	3	11	35	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
15 平成24年10月22日	60分	128	148	31	1	12	85	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
16 平成24年10月25日	60分	158	152	36	5	20	82	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
17 平成24年11月22日	60分	80	79	29	0	1	45	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
18 平成24年12月28日	60分	59	57	31	0	1	21	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
19 平成25年1月4日	60分	594	569	167	22	55	269	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
20 平成25年1月23日	60分	469	460	142	20	39	207	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
21 平成25年1月24日	60分	231	222	74	2	13	103	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
22 平成25年2月8日	60分	6	6	6	0	0	0	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
23 平成25年2月12日	60分	40	40	40	0	0	0	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
24 平成25年3月5日	60分	143	135	40	5	21	51	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
25 平成25年3月16日	60分	6	6	6	0	0	0	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
26 平成25年3月21日	60分	71	69	31	1	3	24	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
27 平成25年3月22日	60分	48	48	23	0	8	13	院内感染対策委員会	①ピデオ(DDO)利用 ②院内感染対策委員会	①感染性病原体 医療安全部 センター 藤田 孝一 ②ピデオ(DDO)利用に関する医療現場における感染対策の実際
合計		6,112	5,887	1,716	205	504	2,775	687		

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 4 回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)	
・ 業務の主な内容： ○看護師、薬剤師による病棟および外来診所配置注射薬の管理状況チェック (月 1 回) ○薬剤師による病棟及び外来診所配置薬剤全般の管理状況チェック (3ヶ月毎) ○救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)	
・ その他の改善のための方策の主な内容： ○手順書の見直し ○情報の院内通知 (ホームページ、電子メール、オーダーシステム上) 特に重要な情報については、処方医に文書を送付 ○副作用を収集して院内に周知するとともに、重篤事例を厚生労働省へ報告 ○疑義照会データの共有による医師のオーダー内容の適正化 ○類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダー名称表示方法を工夫	

平成24年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成24年7月19日	60分	臨床大講堂	72	医療安全管理研修会(医薬品安全管理専門委員会・医療機器安全管理委員会共催)	①除細動器の取り扱いについて ②薬剤の安全使用について	①MEセンター 徳本 裕哉 臨床工学士 ②薬剤部 平川 良宏 薬剤主任
2	平成24年7月20日	60分		50			
3	平成25年1月23日	60分	臨床大講堂	594	医療安全管理・院内感染対策 合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会・医療機器安全管理専門委員会共催)	①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全:医療機器)新しい輸液・シリンジポンプの取り扱いと注意点について ③(安全:医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	①薬剤部 山田 孝明 薬剤師 ②MEセンター 平井 雅博 臨床工学士 ③薬剤部 園分 千代 薬剤師
4	平成25年1月24日	60分		466			
小計				1,182			

○ 採用者への研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成24年4月3日	60分	薬剤部	10	薬剤部採用者研修	薬剤部におけるリスクマネジメント	副薬剤部長 末安 正典
2	平成24年5月11日	90分	百年講堂中ホール	118	看護部1ヶ月フォローアップ研修	医薬品の管理と安全使用について	副薬剤部長 末安 正典
小計				128			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成24年6月1日	60分	北棟6階-2講棟	17	学習会(注射薬の調製について)	アンブル・バイアルの取り扱いについて	薬剤部麻薬係 鬼塚 麻美 薬剤師
2	平成24年7月6日	20分	北棟8階病棟	15	がん患者への医療用麻薬説明	不安の払拭と正しい薬剤の使用法	薬剤部麻薬担当 今井 智之 薬剤師
3	平成24年7月21日	90分	百年講堂大ホール	107	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副薬剤部長 末安 正典 薬剤師
4	平成24年8月2日	30分	北棟7階-2講棟	16	学習会(麻薬管理)	医療用麻薬の管理について	薬剤部麻薬担当 今井 智之 薬剤師
5	平成25年1月31日	30分	南棟7階 カンファレンスルーム	13	学習会(麻薬管理)	オピオイド鎮痛薬の基本的な知識 ～オピオイド鎮痛薬導入時の注意点を中心に～	薬剤部麻薬係 佐田 裕子 薬剤師
6	平成25年2月8日	45分	北棟6階 カンファレンスルーム	15	学習会(麻薬管理)	麻薬(オピオイド)について ～モルヒネ、オキシコドン、フentanil～	薬剤部麻薬係 末次 王卓 薬剤師
7	平成25年2月8日	45分	北棟11階 カンファレンスルーム	25	学習会(抗菌薬)	抗菌薬について	薬剤部麻薬係 内田 まよこ 薬剤師
8	平成25年3月1日	60分	ウエストウイング3階 スキルトレーニングセンターC	140	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部副薬剤部長 末安 正典 薬剤師
小計				348			

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 8 回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： (1) 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 (2) 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書により実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 (2) 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 (3) 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において、各委員会に報告し、関連部署へ周知している。	

平成24年度 医療安全管理研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数 (その他職)	研修会名	テーマ	講師
1	平成24年7月19日	60分	臨床大講堂	72	医療安全管理研修会(医薬品安全管理専門委員会・医療機器安全管理専門委員会共催)	①除細動器の取り扱いについて ②薬剤の安全使用について	①MIEセンター 徳本 裕哉 臨床工学技士 ②薬剤師 平川 良宏 薬剤師
	平成24年7月20日	60分		50			
2	平成25年1月23日	60分	臨床大講堂	568	医療安全管理・院内感染対策 合同研修会(医薬品安全管理専門委員会・医療機器安全管理専門委員会共催)	①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全:医療機器)新しい輸液・シリンジポンプの取り扱いと注意点について ③(安全:医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MIEセンター 平井 雅博 臨床工学技士 ③薬剤師 園分 千代 薬剤師
	平成25年1月24日	60分		457			
3	平成25年2月8日	45分	臨床大講堂	222	医療安全管理・院内感染対策 合同ビデオ研修会 (1/23・24の録画DVD上映による)	ビデオ ①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全:医療機器)新しい輸液・シリンジポンプの取り扱いと注意点について ③(安全:医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MIEセンター 平井 雅博 臨床工学技士 ③薬剤師 園分 千代 薬剤師
	平成25年2月8日	45分					
	平成25年2月8日	45分					
	平成25年2月8日	45分					
	平成25年2月8日	45分					
4	平成25年2月12日	45分	臨床研究棟 放射線科医局員室	6	医療安全管理・院内感染対策 合同ビデオ研修会 (1/23・24の録画DVD上映による) (放射線科・放射線部出前研修)	ビデオ ①(感染)抗菌薬の適正使用について ②(安全:医療機器)新しい輸液・シリンジポンプの取り扱いと注意点について ③(安全:医薬品)医薬品の適正使用に関する情報について	①薬剤師 山田 孝明 薬剤師 ②MIEセンター 平井 雅博 臨床工学技士 ③薬剤師 園分 千代 薬剤師
	平成25年2月8日	45分					

○ 職種別研修会

<対象者:看護師、看護助手>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成24年7月20日	0.5日×1	外来棟5階会議室2	40	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者フォローアップ研修	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者フォローアップ研修	医療安全管理部副看護師長 安養寺美子 看護師

日付	機器分類	研修区分	研修区分名	会場	講師(敬称略)	主催	共催	受講者 医 師 数 CE	その他 計
2012.4.9	その他ME機器	研修導入研修会	ハリスオキシメーター「Radcast-1」取り扱い研修会	北B1F 地下1階共用会議室	マンモジャパン 藤氏	MEセンター		8	8
2012.4.23	人工呼吸器	臨床技術向上のための研修会	「RTX」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	IMI 永里氏	MEセンター		7	7
2012.5.1	人工心肺	臨床安全使用のための研修会	格差心臓補助人工心臓「EVAHEART」取り扱い研修会	北B3F ハートセンター	MEセンター 榎 哲太郎	MEセンター		13	1
2012.5.14	人工呼吸器	臨床技術向上のための研修会	安全圧気管吸引	北B1F 地下1階共用会議室	日本コピティエン 小川氏	MEセンター		10	10
2012.5.24	人工呼吸器	臨床安全使用のための研修会	気管支病の取り扱い研修会	南3F 手術部	MEセンター 榎 哲太郎	MEセンター		25	
2012.5.25~6.19	人工呼吸器	研修導入研修会	V900 取り扱い研修会	各診療部門	フィリップス 奥永氏ほか	MEセンター		113	1
2012.5.28	人工呼吸器	研修導入研修会	「HAMILTON-C2」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	日本光電 西嶋氏	MEセンター		17	11
2012.6.7~11	人工呼吸器	研修導入研修会	「B40」取り扱い研修会	北B1F MEセンターほか	コピティエン ジャパン 松田氏	MEセンター		4	7
2012.6.14	血液浄化装置	研修安全使用のための研修会	血液透析システムについて	南4F KCU	栗ノメティカル 梶浦氏	MEセンター	腎臓病治療部	4	2
2012.6.14	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	第22回呼吸管理セミナー	百年講堂		呼吸管理セミナー			
2012.6.18	その他ME機器	研修導入研修会	自己血回収装置「Cell Saver Elite」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	ハモネティクス ジャパン 新塚氏	MEセンター		11	11
2012.6.21	その他ME機器	研修導入研修会	全身抗感染装置「Primus E」取り扱い研修会	南3F 手術部	ドレーグル・メティカル 木本氏	MEセンター	MEセンター	17	6
2012.6.21	尿濾器	研修安全使用のための研修会	腎臓病治療装置取り扱い研修会	北B1F 地下1階共用会議室	アトムメティカル 川津氏	MEセンター		11	11
2012.7.9	人工心肺・補助循環装置	研修安全使用のための研修会	JMS型人工心肺取り扱い研修会	北B1F 地下1階共用会議室	JMS 原氏	MEセンター		9	9
2012.7.19・20	除細動器	研修安全使用のための研修会	除細動器取り扱い研修会	種株大講堂	MEセンター 藤木 裕武	MEセンター	医療安全管理部		
2012.7.23	人工心肺・補助循環装置	研修導入研修会	人工外科 HAS II 型人工心臓取り扱い研修会	北B1F MEセンター	東工薬科 船橋氏	MEセンター		7	7
2012.7.24	人工心肺・補助循環装置	研修導入研修会	人工外科 HAS II 型人工心臓取り扱い研修会	北B1F MEセンター	ソーリン 榎井氏	MEセンター		9	9
2012.7.30	その他ME機器	研修導入研修会	経路栄養ポンプ「カンガルー-Joyポンプ」取り扱い研修会	北B1F 地下1階共用会議室	日本コピティエン 前東氏	MEセンター		7	7
2012.8.9	その他ME機器	研修導入研修会	EV1000 "ポリューム" 取り扱い研修会	北B1F MEセンター	エドワード・ロビンソン 松井氏	MEセンター		6	11
2012.8.27	血液浄化装置	研修安全使用のための研修会	CHDF取り扱い研修会	南3階 ICU	定松 博夫	MEセンター		14	14
2012.8.27	その他ME機器	研修導入研修会	経路栄養ポンプ「カンガルー-Joyポンプ」取り扱い研修会	WW3F スマイル・ニコングラ	日本コピティエン 前東氏	MEセンター		25	25
2012.8.27	その他ME機器	臨床技術向上のための研修会	日本光電生体情報モニター研修会	北B1F MEセンター	日本光電 白石氏	MEセンター		8	8
2012.9.10	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	人工呼吸器「PB560」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	コピティエン ジャパン 松田氏	MEセンター		7	7
2012.9.12	血液浄化装置	研修安全使用のための研修会	CHDF取り扱い研修会	北G-2	MEセンター 定松 博夫、高橋 研	MEセンター		17	1
2012.9.13	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	人工呼吸器「PB840」取り扱い研修会	南3階 ICU	人工呼吸器 ジャパン 松田氏	MEセンター		7	7
2012.9.24	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	人工呼吸器「PB840」取り扱い研修会	南3階 ICU	人工呼吸器 ジャパン 松田氏	MEセンター		7	7
2012.10.9	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	人工呼吸器「Thorax200」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	メディック 藤田氏	MEセンター		6	6
2012.10.29	人工心肺・補助循環装置	研修導入研修会	JMS型人工心肺取り扱い研修会	北B1F 地下1階共用会議室	JMS 河原田氏	MEセンター		7	7
2012.10.31	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	第23回呼吸管理セミナー	百年講堂		呼吸管理セミナー		77	85
2012.11.13~16	その他ME機器	研修導入研修会	テルモ肺深・シリントポンプ(TE-261、TE362)取り扱い研修会	南3階 OPE ICU	テルモ 平井氏	MEセンター		11	88
2012.12.10	その他ME機器	研修安全使用のための研修会	患者体温度管理装置「AccusSun」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	IMI 秋本氏	MEセンター		7	7
2013.1.31	その他ME機器	研修導入研修会	テルモ肺深ポンプ(TE-261)取り扱い研修会	外来化学療法室	テルモ 平井氏	MEセンター		4	4
2013.2.5	その他ME機器	研修導入研修会	アコマ肺深器取り扱い研修会	南3階 OPE	アコマ 松林氏	MEセンター		9	17
2013.2.7	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	第24回呼吸管理セミナー	百年講堂		呼吸管理セミナー			
2013.2.25	その他ME機器	研修安全使用のための研修会	医用消毒について	南3階 手術部	MEセンター 佐々野 浩一	MEセンター		18	18
2013.2.25	人工心肺・補助循環装置	研修導入研修会	格差心臓補助人工心臓「EVAHEART CO2」取り扱い研修会	北B3F ハートセンター	サンメティカル 藤岡氏、小山氏	MEセンター		37	10
2013.3.6~7	血液浄化装置	研修安全使用のための研修会	透析液製造装置のいろいろ	南4階 ハイケア棟	MEセンター 定松 博夫	MEセンター		15	15
2013.3.11	その他ME機器	研修導入研修会	全身抗感染装置「ACHS-1」取り扱い研修会	南3階 手術部	GEヘルスケア 船橋氏	MEセンター		15	31
2013.3.12・18・27	除細動器	臨床技術向上のための研修会	血液浄化装置「ACHS-1」について	北B1F MEセンター	旭化成メテカル 守永氏ほか	MEセンター		8	8
2013.3.18	人工呼吸器	研修安全使用のための研修会	除細動器「P100」取り扱い研修会	南3階 手術部	フクダ電子 大森氏	MEセンター		14	43
2013.3.18	その他ME機器	研修安全使用のための研修会	人工呼吸器「PB840」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	コピティエン ジャパン 松田氏	MEセンター		8	8
2013.3.19	尿濾器	研修導入研修会	手術用尿濾器「ライカ」取り扱い研修会	南3階 手術部	ライカ 五兵衛	MEセンター		9	3
2013.3.25	尿濾器	研修安全使用のための研修会	腎臓病治療装置取り扱い研修会	北B1F MEセンター	アトムメティカル 川津氏	MEセンター		10	10
2013.3.27	人工心肺・補助循環装置	研修導入研修会	JASP「CS300 TRANS-PAY」について	北B1F MEセンター	マック・グティン 榎木氏	MEセンター		10	10

(記載は別記載)

(記載は別記載)

(記載は別記載)

(記載は別記載)

(記載は別記載)